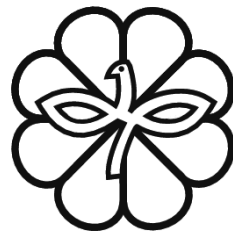


令和 4 年 度

事業報告並びに収入支出決算報告書（案）



神奈川県民生委員児童委員協議会

は じ め に

コロナの感染拡大に伴い、令和2年4月に発令された緊急事態宣言から3年余りが経ち、委員活動には様々な制約が強いられました。そのような中でも、地域住民にとっての「身近な相談役」として“つながりを絶やさない”との思いから、新たな生活様式を踏まえた実践が各地で展開され、私たち民生委員・児童委員にとって活動の大切さを改めて確認した1年であったと感じています。また、令和4年度は、あらたに策定した神奈川県版活動強化方策のもとで活動した初年度であり、12月には一斉改選が行われる等、県民児協としても節目の年になりましたが、委員活動の魅力を再確認しながら、委員としてこれまで大切にしてきたことと、これから強化していくべきことの双方に目を向けながら、次の項目を重点に掲げ事業に取り組みました。

<重点目標>

1. 社会的孤立を防ぐための個別支援活動の推進

オンラインによる階層別・課題別の情報交換会やオンデマンド・DVDを活用した課題別集中講座等を実施したほか、市町村民児協会長研修会では今期の振り返りとそこからみえた委員活動の重要性を考え、単位民児協会長研修会では「メンタルヘルスやコミュニケーション」等をテーマに学びを深めました。また、児童委員・主任児童委員活動推進会議ではヤングケアラーをテーマに協議を行うとともに、県民児協だよりの発行や個別援助票の手引きの改訂等にも取り組みました。

2. 複雑・多様化する課題を受け止め、つなぐための多様な機関・団体との連携

県行政と常任理事との懇談会では地域福祉に焦点を当てながら、県の取り組みや課題等の報告、意見交換等を行いました。児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議では子どもを取り巻く問題を軸に据えながら、県や児童相談所の取り組みや課題等の報告、意見交換等を内容として実施し、よりよい連携のあり方について協議を進めました。

3. 持続可能な委員活動（制度）のための取り組み

総合企画委員会では地域版活動強化方策の策定支援や一斉改選に向けた民生委員・児童委員活動の記録の在り方等を協議し、市町村民児協事務担当者会議では事務局相互の意見交換を行いました。また、住民説明用パンフレットを改訂し、委員活動の理解促進に努めました。

令和4年12月の一斉改選を経て、新たな顔ぶれとなりましたが、私たちがこれまで積み重ねてきた活動を振り返り、やりがいや楽しさを再確認するとともに、「きづく・つなぐ・みまもる」姿勢を大切に、これからも皆さまと共に活動を進めてまいります。引き続き、会員並びに関係機関のご理解・ご協力をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

令和5年6月

神奈川県民生委員児童委員協議会

会 長 三 觥 壽 則

も く じ

はじめに

事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化	1
(1) 会務の運営	1
(2) 企画調整機能の強化	7
(3) 市町村民児協事務局との連絡調整	10
(4) 関係機関・団体との連絡調整	11
(5) 会員慶弔事業の実施	12
2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、単位民児協活動の強化	14
(1) 地域福祉活動促進費の交付	14
(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定	29
(3) 地域版活動強化方策の策定支援	31
(4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援	31
(5) 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施	36
(6) 生活福祉資金の積極的活用、社会福祉協議会との協働の促進	36
3. 児童委員活動の推進（基盤づくり）	36
(1) 児童委員・主任児童委員連絡会議の開催	36
(2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催	37
4. 研修事業の実施（本会主催研修事業）	37
(1) 市町村民児協会長研修会	37
(2) 単位民児協会長研修会	38
(3) 課題別集中講座	38
(4) オンライン情報交換会	38
5. 情報提供の強化	39
(1) 『県民児協だより』の発行	39
(2) 個別援助票の手引き・発行	41
(3) 民生委員児童委員活動の広報の強化	41

6. 全国・関東ブロック会議等への参加	41
7. 関連団体・機関との連携、協働	42

決算報告

一般会計収入支出決算書	46
貸借対照表	50
固定資産増減明細書	51
積立金明細書	51
財産目録	52
監査意見書	55



事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化

(1) 会務の運営 経費：1,044,761円

役員会は、正副会長会議を4回、常任理事会を5回、理事会を6回、総会を3回、監事会を1回、新旧会長引継会を1回開催し本会の適正な運営ならびに具体的活動の方針を協議した。

① 正副会長会議 4回

開催期日	議 題
4.5.11	1. 県民児協事業の年間予定について 2. 令和3年度県民児協事業報告並びに決算報告（案）について 3. 令和4年度県民児協収入支出補正予算（案）について 4. 総会の役割分担について 5. 会則の変更について 6. 個人情報保護規程の制定及びプライバシーポリシーの改定について 7. 互助事業運営要綱の改正について 8. 監事の選任について 9. 民生委員・児童委員活動PR事業について 10. 第1回単位民児協会長研修会について 11. 市町村民児協会長研修会(案)について 12. 課題別集中講座(案)について 13. オンライン情報交換会(案)について 14. 児童委員活動の推進(基盤づくり)(案)について 15. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 16. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について 17. 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について 18. 外部委員会の委員選出について
4.8.24	1. 県民児協事業の年間予定について ・市町村民事協会長研修会及び第2回理事会の開催場所について 2. 一斉改選に伴う準備について ① 県民児協役員選任の手順について ② 臨時総会の役割分担・単位民児協会長研修会(案)について ③ 次期広報委員・通信員について ④ 退任記念品について 3. 互助事業運営要綱の改正内容について 4. 民生委員児童委員活動推進事業について 5. 民生委員・児童委員活動PR事業について 6. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 7. 外部委員会の委員選出について

4. 10. 17	1. 県民児協事業の年間予定について 2. 今期の振り返りと来年度に向けて 3. 令和 5 年度各種助成事業について 4. 互助事業運営要綱について 5. 民生委員・児童委員活動 PR 事業について 6. 県行政と役員との懇談会について 7. 一斉改選に伴う役員慶弔について
5. 2. 6	1. 令和 5 年度県民児協事業計画並びに収支予算(案)について ・事業計画(案)について ・総合企画委員会について ・研修企画のための会議体について 2. 令和 5 年度県民児協役員会・総会の年間予定について 3. 令和 5 年度第 1 回総会の役割分担について 4. 令和 5 年度第 1 回単位民児協会長研修会の開催について 5. 県民児協の監事について 6. 令和 5 年度「民生委員・児童委員の日」に向けた取り組みについて

② 常任理事会 5 回

開催期日	議 題
4. 5. 23	1. 県民児協の年間予定について 2. 令和 3 年度県民児協事業報告並びに決算報告(案)について 3. 令和 4 年度県民児協収入支出補正予算(案)について 4. 総会及び単位民児協会長研修会について ・開催場所の変更について ・開催判断の時点について ・講師の変更について 5. 会則の変更について 6. 個人情報保護規程の制定及びプライバシーポリシーの改定について 7. 監事の選任について 8. 互助事業運営要綱の改正について 9. 退任記念品について 10. 民生委員・児童委員活動 PR 事業について 11. 市町村民児協会長研修会(案)について 12. 課題別集中講座(案)について 13. オンライン情報交換会(案)について 14. 児童委員活動の推進(基盤づくり)(案)について 15. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について 16. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 17. 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について 18. 外部委員会の委員選出について

	■報告事項 1. 神奈川県版活動強化方策について 2. 民生委員児童委員部会作成の動画について
4. 9. 5	1. 県民児協事業の年間予定について ・市町村民事協会長研修会及び第2回理事会の開催場所について 2. 一斉改選に伴う準備について ① 県民児協役員選任の手順について ② 臨時総会の役割分担・単位民児協会長研修会(案)について ③ 次期広報委員・通信員について ④ 退任記念品について 3. 互助事業運営要綱の改正内容について 4. 民生委員児童委員活動推進事業について 5. 民生委員・児童委員活動PR事業について 6. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 7. 外部委員会の委員選出について ■報告事項 1. 「地域版活動強化方策」策定支援助成金の活用実績について 2. ブロック別活動報告について 3. 県民児協だよりのレイアウト変更について 4. 一斉改選に伴う引継ぎについて
4. 11. 7	1. 民児協事業の年間予定について 2. 今期の振り返りと来年度に向けて 3. 令和5年度各種助成事業について 4. 互助事業運営要綱について 5. 民生委員・児童委員活動PR事業について 6. 一斉改選に伴う役員慶弔について ■報告事項 1 県行政と役員との懇談会について
5. 1. 16	1. 今後の県民児協の方向性について 2. 第2回総会の役割分担について 3. 第3回単位民児協会長研修会について 4. 各種外部委員会について 5. 広報委員会委員の委嘱について 6. 全国大会・研修会等の派遣について 7. 児童相談所長と常任理事との連絡調整会議について 8. オンライン情報交換会について 9. 役員慶弔について
5. 2. 20	1. 令和5年度県民児協事業計画並びに収支予算(案)について ・事業計画(案)について

	・総合企画委員会について ・助成要綱について ・収支予算（案）について
2.	令和5年度県民児協役員会・総会の年間予定について
3.	令和5年度第1回総会の役割分担について
4.	令和5年度第1回単位民児協会長研修会の開催について
5.	県民児協の監事について
6.	令和5年度「民生委員・児童委員の日」に向けた取り組みについて
7.	児童相談所長と常任理事との連絡調整会議について

③ 理事会 6回

開催期日	議 題
4.6.13	1. 県民児協事業の年間予定について 2. 令和3年度県民児協事業報告並びに決算報告(案)について 3. 令和4年度県民児協収入支出補正予算(案)について 4. 総会及び単位民児協会長研修会について ・開催場所の変更について ・開催判断の時点について ・講師の変更について 5. 会則の改定について 6. 個人情報保護規程の制定及びプライバシーポリシーの改定について 7. 互助事業運営要綱の改正について 8. 退任記念品について 9. 民生委員・児童委員活動PR事業について 10. 市町村民児協会長研修会(案)について 11. 課題別集中講座(案)について 12. オンライン情報交換会(案)について 13. 児童委員活動の推進(基盤づくり)(案)について 14. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 15. 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について 16. 外部委員会の委員選出について ■報告事項 1. 監事の選任について 2. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 3. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について 4. 県民児協だよりのレイアウト変更について 5. 神奈川県版活動強化方策について 6. 外部委員会報告について 7. 県社協民生委員児童委員部会及び県政令市民児協情報交換会の報告について 8. 県社協民生委員児童委員部会作成のPR動画について

4. 9. 28 於：ホテルプラム	1. 県民児協事業の年間予定について 2. 一斉改選に伴う準備について ① 県民児協役員選任の手順について ② 臨時総会の役割分担・単位民児協会長研修会(案)について ③ 次期広報委員・通信員について ④ 退任記念品について 3. 互助事業運営要綱の改正内容について 4. 民生委員・児童委員活動 PR 事業について 5. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 6. 外部委員会の委員選出について ■報告事項 1. 会費の納入について 2. 令和2年度7月豪雨災害被災地への募金のお礼について 3. 民生委員児童委員推進活動事業について 4. 「地域版活動強化方策」策定支援助成金の活用実績について 5. ブロック別活動の報告について 6. 一斉改選に伴う引継ぎについて 7. 総合企画委員会について 8. 県民児協だよりのレイアウト変更について 9. 全国大会について 10. 民生委員・児童委員活動の充実に向けた単位民児協活動状況アンケートの実施について(全民児連) 11. 県社協民生委員児童委員部会について 12. 各種外部委員会の報告について
4. 11. 14 於：ホテルプラム	1. 県民児協事業の年間予定について 2. 今期の振り返りと来年度に向けて 3. 令和5年度各種助成事業について 4. 互助事業運営要綱について 5. 民生委員・児童委員 PR 活動事業について 6. 一斉改選に伴う役員慶弔について ■報告事項 1. 県行政と役員との懇談会について 2. 総合企画委員会について 3. ブロック別活動について 4. 第91回全国民生委員児童委員大会 大会宣言について 5. 県社協民生委員児童委員部会について 6. 各種外部委員会の報告について

4. 12. 21 於：ホテルプラム	1. 神奈川県民児協について 2. 神奈川県民児協役員の選任について ①常任理事候補者について ②正副会長候補者について ③監事選任の市町村民児協について 3. 臨時総会ならびに第2回単位民児協会長研修会について 4. 1月以降の神奈川県民児協の予定について ・スケジュールの確認 ・賀詞交歓会の開催について
5. 1. 30 於：ホテルプラム	1. 県民児協の顧問について 2. 今後の県民児協の方向性について 3. 第2回総会の役割分担について 4. 第3回単位民児協会長研修会について 5. 各種外部委員会について 6. 全国大会・研修会等の派遣について 7. 児童相談所長と本会常任理事との連絡調整会議について 8. オンライン情報交換会について 9. 役員慶弔について 10. 県民児協役員会等の予定について ■報告事項 1. 広報委員会委員等の委嘱について 2. 各種外部委員会の報告について 3. 県社協民生委員児童委員部会について
5. 3. 13	1. 令和5年度県民児協事業計画並びに収支予算（案）について ・事業計画（案）について ・総合企画委員会について ・助成要綱について ・収支予算（案）について 2. 令和5年度県民児協役員会・総会の年間予定について 3. 令和5年度第1回総会の役割分担について 4. 令和5年度第1回単位民児協会長研修会の開催について 5. 県民児協の監事について 6. 令和5年度「民生委員・児童委員の日」に向けた取り組みについて 7. 児童相談所長と常任理事との連絡調整会議について 8. 令和4年度民生委員・児童委員活動PR事業について ■報告事項 1. 県民児協 顧問について 2. ブロック別活動について

④ 総会 3回

開催期日	議 題
4. 7. 4	1. 令和3年度事業報告・収支決算（案）について 2. 令和4年度補正予算（案）について 3. 会則の改定について 4. 個人情報保護規程の制定及びプライバシーポリシーの改定について
4. 12. 21 (臨時)	1. 正副会長・常任理事の選任について 2. 監事選任市町村民児協について
5. 3. 30	1. 監事の選任について 2. 令和5年度事業計画(案)並びに収入支出予算(案)について

⑤ 監事会 1回

開催期日	議 題
4. 6. 8	1. 事業報告・決算報告(案)説明 2. 質疑応答 3. 講評

⑥ 新旧会長引継会 1回

開催期日	議 題
5. 1. 10	県民児協会長の役割 ・ 県民児協役員会関係 ・ 全民児連関係 ・ 県社協関係

(2) 企画調整機能の強化

事業の企画や事業を円滑にすすめるために各種会議を開催した。

① 総合企画委員会 3回 経費：133,284 円

開催期日	議 題
4. 7. 22	1. 神奈川県版活動強化方策策定の振り返り 2. 地域版活動強化方策の策定支援に向けて 3. 個別援助票の手引き改訂に向けて
4. 9. 15	1. 地域版活動強化方策の策定支援に向けて 2. 一斉改選に向けた民生委員・児童委員活動の記録のあり方について
4. 11. 15	1. 一斉改選に向けた民生委員・児童委員活動の記録のあり方について 2. 今期の振り返りと次期総合企画委員会に向けて

総合企画委員会委員（令和2年4月1日から令和5年3月31日まで） ◎委員長 ○副委員長

- ◎寺下かつ子（大井町民児協会会長）
 ○白鳥 勉（伊勢原市成瀬地区民児協会会長）
 井澤 與（横須賀市民児協副会長、衣笠第1地区民児協会会長）
 山元 重治（小田原市民児協副会長）
 北村 均（秦野市民児協常任理事、広畑地区民児協会会長、主任児童委員部担当会長）
 宮本 隆（厚木市小鮎地区民児協会会長）
 小西 悦子（寒川町南部地区民児協会会長）
 中村美安子（神奈川県立保健福祉大学教授）
 谷田 亮（座間市民児協事務局）
 望月 正雄（神奈川県地域福祉課）
 桐生 行雄（神奈川県民児協会会長、海老名市民児協会会長）※オブザーバー

② 広報委員会 4回 経費：123,677円

開催期日	議 題
4.5.25	1. 『県民児協だより第150号』の紙面企画について 2. 『県民児協だより第149号』の紙面校正について
4.8.29	1. 『県民児協だより第150号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第151号』の紙面企画について
4.11.25	1. 『県民児協だより第151号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第152号』の紙面企画について 3. 通信員連絡会の企画について
5.2.27	1. 『県民児協だより』と広報委員について 2. 正副委員長選出について 3. 『県民児協だより第152号』の紙面校正について 4. 令和5年度『県民児協だより』の紙面計画について 5. 『県民児協だより第153号』の紙面企画について

広報委員（令和元年12月1日から令和4年11月30日まで） ◎委員長 ○副委員長

- ◎根本 智（横須賀市民生委員・児童委員）
 ○高田 陽子（茅ヶ崎市民生委員・児童委員）
 倉橋 郁子（海老名市民生委員・児童委員）
 西村 恵美子（南足柄市主任児童委員）
 橋本 照雄（愛川町民生委員・児童委員）
 佐野 千代子（大磯町主任児童委員）
 若林 宏光（箱根町民生委員・児童委員）
 桐生 行雄（神奈川県民児協会会長、海老名市民児協会会長）※オブザーバー
 望月 正雄（神奈川県地域福祉課）※オブザーバー

広報委員（令和４年１２月１日から令和７年１１月３０日まで） ◎委員長 ○副委員長

- 小林 美幸 （藤沢市主任児童委員）
 ○齋藤 啓子 （大和市民生委員・児童委員）
 菅 重男 （伊勢原市民生委員・児童委員）
 嶋村 真由美 （座間市民生委員・児童委員）
 宮崎 進 （葉山町民生委員・児童委員）
 ◎守屋 孝幸 （松田町民生委員・児童委員）
 勝亦 仁 （真鶴町民生委員・児童委員）
 白井 幸江 （神奈川県民児協副会長、横須賀市民児協会会長）※オブザーバー
 望月 正雄 （神奈川県地域福祉課）※オブザーバー

③ 通信員連絡会 １回 経費：１５９，６３０円

開催期日	議 題
5.3.16 (31名)	1. 通信員連絡会 ① 自己紹介 ② 『県民児協だより』と通信員の役割について ③ 魅力ある紙面づくりに向けて（意見交換） 2. 新聞レクチャー

通信員（令和元年１２月１日から令和４年１１月３０日まで）

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	山 岸 一 男	大 和 市	倉 林 夏 子	大 磯 町	庄 司 幸 夫
平 塚 市	井 上 勝 博	伊 勢 原 市	出 縄 幹 雄	二 宮 町	山 影 由 美 子
鎌 倉 市	川 田 順 一	海 老 名 市	佐 久 間 ひ さ み	中 井 町	早 田 恵 美 子
藤 沢 市	阿 部 川 扶 美 子	座 間 市	清 水 春 男	大 井 町	菅 沼 玲 子
小田原市	石 塚 ミ ド リ	南 足 柄 市	久 積 瑠 美 子	松 田 町	山 田 敏 子
茅ヶ崎市	中 尾 圭 子	綾 瀬 市	中 嶋 利 宏	山 北 町	細 谷 榮 一
逗 子 市	松 岡 蓉 子	愛 川 町	小 曾 根 潔	開 成 町	大 野 富 枝
三 浦 市	大 森 美 城 雄	清 川 村	橋 爪 公 子	箱 根 町	芝 京 子
秦 野 市	廣 川 士 朗	葉 山 町	藤 本 茂 夫	真 鶴 町	青 木 和 美
厚 木 市	高 田 幸 夫	寒 川 町	佐 和 橋 み どり	湯 河 原 町	横 井 勝 己

通信員（令和４年１２月１日から令和７年１１月３０日まで）

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	丸 茂 喜久代	大 和 市	石 口 恭 子	大 磯 町	小 島 美 奈
平 塚 市	中 山 裕 史	伊 勢 原 市	菅 重 男	二 宮 町	森 清 子
鎌 倉 市	大 崎 美紀雄	海 老 名 市	塚 原 弘	中 井 町	西 尾 美嘉子
藤 沢 市	今 福 民 生	座 間 市	中 村 由 美	大 井 町	瀬 戸 里 美
小田原市	田 邊 淳 子	南 足 柄 市	石 川 京 子	松 田 町	守 屋 孝 幸
茅ヶ崎市	佐 藤 幸 子	綾 瀬 市	堀 誠	山 北 町	加 藤 君 江
逗 子 市	竹 見 美佐子	愛 川 町	中 島 良 一	開 成 町	熊 澤 喜久恵
三 浦 市	山 岸 義 明	清 川 村	岩 澤 正 信	箱 根 町	芝 京 子
秦 野 市	小 澤 みつ江	葉 山 町	宮 崎 進	真 鶴 町	織 壁 志 郎
厚 木 市	江 良 泰 成	寒 川 町	中 村 昭 雄	湯 河 原 町	高 橋 直 道

(3) 市町村民児協事務局との連絡調整

① 市町村民児協事務担当者会議 ３回 経費：１，０５６円

開催期日	議 題
4. 5. 18	【オンライン開催】 1. 令和４年度年間スケジュール（案）について 2. 一斉改選にかかるスケジュールについて 3. 神奈川県版活動強化方策について 4. 本会ホームページの運用について 5. その他 ① 互助要綱改定について ② 表彰について ③ 移転関連について ④ 民生委員児童委員部会作成のPR 動画について 6. 神奈川県民生委員児童委員協議会の概要について 7. 民生委員・児童委員を対象とする助成事業について 8. 互助事業について 9. 民児協関連書類について ① 活動記録について ② 個別援助票について ③ 調査事務について
4. 7. 11	【オンライン開催】 1. 一斉改選に伴う事務スケジュールについて 2. 情報共有 ① 県地域福祉課より ② 優良民児協の推薦について ③ 関ブロ・全国大会について ④ 県民児協だよりのレイアウト変更について

	3. 事前アンケート集計結果について 4. 市町村民児協の状況について（情報交換） テーマ：一斉改選に向けた取り組み・課題について
5.3.8	【オンライン開催】 ●市町村民児協・行政合同事務担当者会議（県地域福祉課との合同開催） 【第1部】県民児協事業説明（市町村民児協向け） 1. 令和5年度県民児協事業計画並びに収支予算（案）について ① 事業計画（案）について ② 令和5年度各種助成事業（案）について ③ 収支予算（案）について 2. 令和5年度役員会等年間予定について 3. 令和5年度全国大会・研修会等への参加について 4. その他 ① 県民児協互助共励事業の改定について ② 『役員の慶弔に関する規程』の一部改定について ③ 令和5～7年度『県民児協だより』原稿執筆分担について ④ 本会ホームページ掲載情報の更新について 【第2部】民児協・行政合同情報交換（市町村民児協・行政向け） 1. 事前アンケートに基づく情報共有 2. グループごとの情報交換 ① 一斉改選後、新体制での民生委員・児童委員活動に向けて ② 民生委員・児童委員活動のサポートについて

② 市町村民児協事務局向けの情報配信

各市町村民児協事務局へ、研修や会議の日程などの事務連絡を定期的に電子メールにより配信し、業務の円滑な推進を図った。

(4) 関係機関・団体との連絡調整

① 県行政と常任理事との懇談会 1回 経費：45,880円

本会常任理事と民生委員・児童委員の業務に関係が深い県地域福祉課との懇談会を開催し、民生委員・児童委員活動にかかわる神奈川県との取り組みと課題等を報告するとともに、協議題についての意見交換を行った。また、横須賀市にオブザーバー参加いただき、県域での課題を共有した。

開催期日	議 題
4.10.27 於：県社会福祉センター	1. 開会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会会長 2. 県地域福祉課より「神奈川県としての取り組み」について ① 前回の懇談会の内容を受けて、県として対応したこと ② 地域福祉を取り巻く動向と県の動き、取り組み課題 ③ 今後に向けた県としての考え方 3. 横須賀市福祉総務課より「横須賀市としての取り組み」について情報共有 4. 閉会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会副会長

② 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議 1回 経費：0円

児童に関する問題について相談に応じる専門機関である児童相談所と、児童委員活動と関係の深い子ども家庭課、地域を見守り、児童相談所につなげる役割である民生委員・児童委員の三者で連絡調整を図る場として開催した。また、横須賀市にもオブザーバー参加いただき、県域での課題を共有した。

開催期日	議 題
5.3.13 於：県社会福祉センター	1. 開会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会会長 2. 県子ども家庭課より説明 3. 横須賀市より説明 4. 児相長より説明（県・横須賀市） 5. 意見交換・情報交換 6. 閉会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会副会長

(5) 会員慶弔事業の実施

① 県民児協互助事業 経費：1,280,000円(給付金)

会員及び配偶者に対して弔慰または見舞金の給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)	退任記念品
死亡弔慰	公務死亡	—	—	—
	一般死亡	15	300,000	12
	配偶者死亡	20	200,000	—
傷病見舞	公務傷害※1	3	30,000	—
	公務疾病	—	—	—
	一般傷病	75	750,000	—
出産祝金	女性会員祝金	—	—	—
災害見舞	災害	—	—	—
退任慰労	退任慰労	1,465	—	1,465
合 計		1,578	1,280,000	1,477

※1 活動打ち合わせのため自転車で移動中に転倒し、骨折した 等

② 全国互助事業 経費：1,587,000円(給付金)

全国民生委員互助運営要綱により、それぞれ給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)
死亡弔慰	公務死亡	—	—
	一般死亡	15	450,000
	配偶者死亡	20	285,000
傷病見舞	公務傷害※1	3	90,000
	公務疾病	—	—
	一般傷病	75	732,000
災害見舞	災害	—	—
退任慰労	退任慰労	1,465	0
全国のみ送金※2		1	30,000
合 計		1,579	1,587,000

※1 活動打ち合わせのため自転車で移動中に転倒し、骨折した 等

※2 一般傷病申請を公務傷害に変更（県単は令和3年度に送金済み）

〔全国・県 合計給付状況内訳〕

市町村名	総件数				市町村名	総件数			
		給付金		退任 記念品			給付金		退任 記念品
		金額(円)	件数				金額(円)	件数	
横須賀市	182	436, 000	18	165	綾瀬市	47	60, 000	3	44
平塚市	120	80, 000	4	116	愛川町	32	0	0	32
鎌倉市	69	140, 000	5	65	清川村	7	0	0	7
藤沢市	144	535, 000	21	125	葉山町	25	108, 000	4	22
小田原市	121	0	0	121	寒川町	29	20, 000	1	28
茅ヶ崎市	112	145, 000	7	105	大磯町	23	0	0	23
逗子市	19	50, 000	2	17	二宮町	24	36, 000	2	22
三浦市	25	0	0	25	中井町	17	0	0	17
秦野市	102	265, 000	10	93	大井町	17	70, 000	2	16
厚木市	114	323, 000	10	107	松田町	17	0	0	17
大和市	76	115, 000	4	73	山北町	23	0	0	23
伊勢原市	63	100, 000	5	58	開成町	13	0	0	13
海老名市	58	43, 000	2	56	箱根町	7	0	0	7
座間市	48	198, 000	8	41	真鶴町	4	0	0	4
南足柄市	24	25, 000	1	23	湯河原町	17	118, 000	5	12
						1, 579	2, 867, 000	114	1, 477

注) 一般死亡の方については、給付金と退任記念品をお渡ししている。そのため、総件数は給付金及び退任記念品贈呈の対象者の実人数であり、給付金件数と退任記念品件数の合計ではない。

③ 全国共励事業の実施と協力

本会より全社協へ民生委員互助共励事業会費 8,496,800 円を納入し、全社協から 9,316,000 円の助成があった。本会では、全国共励事業の一環として全国指定民生委員児童委員協議会への助成を行い、また、地方事務費を本会の全国互助共励事業取扱に伴う事務費に充当した。

＜助成金の内訳＞

(単位：円)

種 別	金 額
互 助 事 業	7,446,000 円
共 励 事 業	528,400 円
地 方 事 務 費	1,341,600 円
合 計	9,316,000 円

このほか、全社協が共励事業の一環として発行した『民生委員・児童委員のひろば』等資料の配布を受けた。

2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、単位民児協活動の強化

民生委員・児童委員活動の組織的基盤であり、拠点である地区民児協の充実強化を図るため、指定地区を中心に支援を行った。

(1) 地域福祉活動促進費の交付 経費：9,873,500円 ※送金手数料含む

民生委員・児童委員活動の充実を図るとともに、市町村民児協の自主的運営と組織整備を推進する事業並びに具体的福祉活動に対してその経費の一部として助成金を交付し、地域福祉の推進に努めた。

<交付金総額>9,857,000円

① 地域福祉活動促進費使途内容

市町村名	内 容
横須賀市	【研修事業】 ○役員研修会・情報交換会 ・役員（常任理事・理事・監事）を対象とする研修会を開催した。 ・第1回役員研修会 <日 時>令和4年度6月17日(金)14時55分から16時5分まで <場 所>総合福祉会館 5階 視聴覚研修室 <出席者>52名 (内訳) (1)市民児協役員 48名(常任理事17名、理事29名、監事2名) (2)オブザーバー 3名 本庁第二地域包括支援センター 主任ケアマネージャー 内田 和美 氏 横須賀市民生局福祉こども部総務課企画係長 栗原 養治 氏 横須賀市民生局福祉こども部地域福祉課総合相談担当主査 岩崎 俊樹 氏 (3)事務局 1名 <内 容>情報交換会 テーマ「民生委員児童委員活動 そのとき あの場合 どう対応する？」 ・第2回役員研修会 <日 時>令和5年1月26日(木)13時45分から15時10分まで <場 所>よこすか平安閣 <出席者>50名 (内訳) (1)市民児協役員 48名(常任理事17名、理事29名、監事2名) (2)事務局 2名 <内 容> 講演 「近年の動向と民生委員児童委員活動」 講師 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科教授 中村 美安子 氏 ○全民生委員児童委員研修会 ・横須賀市児童相談所との共催により、児童福祉の向上と関係機関との連携強化を図る事を目的とし、全民生委員児童委員研修会を開催した。 <日 時>令和5年2月17日(金)13時30分から15時10分まで

<場 所>横須賀市文化会館

<出席者>397 名

(内訳)

(1)民生委員児童委員 392 人

(2)事務員 2 人

(3)市社協関係者 3 人

<内容>

(1)主催者挨拶

横須賀市民生委員児童委員協議会会長 白井 幸江

横須賀市児童相談所副所長兼支援第一係長 深井 朋子

(2)講演

演題「ケアラー・ヤングケアラー問題を学ぶ～ケアに満ちた社会をつくろう」

講師 一般社団法人 日本ケアラー連盟理事 中嶋 圭子氏

○初任者研修会

- ・令和 4 年 12 月 1 日付け一斉改選で新たに委嘱された民生委員児童委員、主任児童委員を中心に、活動に積極的に取り組むことができるよう基礎的な知識を修得することを目的として、初任者研修会を開催した。

<日 時>令和 5 年 1 月 23 日 (月) 13 時から 15 時 30 分まで

<場 所>総合福祉会館 5 階 ホール

<出席者>134 名

(内 訳)

(1)民生委員児童委員 126 人

(2)行政センター職員 5 人

(3)事務局 3 人

<内 容>

(1)民生委員児童委員活動における心構え／市民児協会長 白井 幸江

(2)横須賀市の福祉施策と民生委員・児童委員活動／民生局福祉こども部福祉総務課 栗原氏

(3)横須賀市の生活保護業務について／民生局福祉こども部生活福祉課 乾氏

(4)横須賀市の高齢者福祉施策／民生局福祉こども部介護保険課 桂氏

(5)地域包括支援センターについて／民生局福祉こども部地域福祉課 岩崎氏

(6)横須賀市の障害福祉施策／民生局福祉こども部障害福祉課 杉本氏

(7)横須賀市の児童福祉施策／民生局こども家庭支援センター こども家庭支援課 高橋氏、児童相談課 蛭田氏

(8)活動記録・個別援助票・調査事務の記入方法と考え方／市民児協事務局次長 松尾

○民生委員児童委員・社会福祉推進委員合同研修会

- ・地域福祉を推進していくうえで地域においてリーダー的な役割を担う民生委員児童委員と社会福祉推進委員の連携を強化するため、横須賀市社会福祉協議会との共催により研修会を開催した。

<日時>令和 5 年 2 月 24 日 (金) ※地区を分けて 2 回開催。

(1)10 時 30 分から 12 時まで

(2)13 時 30 分から 15 時まで

<場 所>横須賀市文化会館 大ホール

<出席者>900 人

(内 訳)

(1)民生委員児童委員・主任児童委員 397 人

(2)社会福祉推進委員 489 人

(3)上記(1)・(2)以外の地区社協関係者等 5 人

(4)事務局 2 名

(5)市社協関係者 7 名

<内 容>

講演 「民生委員児童委員と社会福祉推進委員の連携について」

講師 横須賀市社会福祉協議会(市民児協)事務局次長 松尾 健一

【実践事業】

○ふれあいミニコーナー開催

・市民に民生委員児童委員活動について周知することを目的として参加した。

<日 時>令和 4 年 6 月 5 日 (日)

<場 所>総合福祉会館 1 階スペースに「民生委員児童委員協議会ブース」を設置

<内 容>

「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル 2022 に参加し、民生委員活動の周知等を目的に「ふれあいミニコーナー」を開催。バルーンアートや、保冷剤を使用した芳香剤づくりを実地し、約 200 名の来場者に PR のためのチラシ等を配布した。また、神奈川県社会福祉協議会民生委員児童委員部会作成の PR 動画を放映した。

○PR カード・パンフレット・冊子等購入費

・PR カード・パンフレット・冊子購入品

(1)「活動事例集 地域共生社会と民児協活動」1,900 円(@100×19 冊)地区会長へ配布

(2)「2022 年度版 新任民生委員・児童委員の活動の手引き」74,160 円@412×180 部

(3)PR カード 4,000 円(@3×1000 部+送料 1,000 円)

(4)PR チラシ 3,000 円(@2×1000 部+送料 1,000 円)

○子育てサロンカレンダー作成

・主任児童委員連絡会が中心となり、未就学児及びその保護者を対象とした子育てサロン情報を掲載した「子育てサロンカレンダー」を作成した。

(1)令和 4 年度後期分

令和 4 年 8 月 30 日(火) 総合福祉会館 第 3 相談室、印刷機械室

(2)令和 5 年度前期分

令和 5 年 3 月 30 日(木) 総合福祉会館 第 3 相談室、印刷機械室

【研修事業】

○民生委員児童委員大会

・5 月 12 日の「民生委員・児童委員の日」並びに 5 月 12 日から 5 月 18 日の「民生委員・児童委員活動強化週間」取り組みの一つに位置付け、市内の民生委員児童委員が一堂に会して、委員としての基本的な職務や自らが地域で果たし得る役割を見つめ直し、関係行政機関や地地域関係者との協働のもとに地域福祉を推進していくことを目的に開催した。

	<日 時>令和 4 年 5 月 26 日（木）13 時 30 分から 14 時 30 分まで <場 所>横須賀市文化会館 大ホール <内 容> 【第一部】式典 (1)主催者あいさつ (2)横須賀市民生委員児童委員協議会会長 (3)来賓祝辞 横須賀市長、横須賀市議会副議長、横須賀市社会福祉協議会会長 (4)来賓紹介 【第二部】 講演「地域共生社会の実現に向けた横須賀市の取り組みについて」 講師 横須賀市民生局長 平澤 和宏 氏 <出席者>376 人 (内訳) (1)民生委員児童委員 357 人 (2)来賓 11 人 (3)横須賀市職員 3 人 (4)事務局 5 人 【研究事業・実践事業】 ○研究広報部会 ・部会会議：6 回（編集・校正作業含む） ・正副部会長会議：7 回 編集グループでの打ち合わせ：14 回（編集・校正作業含む） よこすか民児協会報発行 (1)第 93 号 令和 4 年 5 月 1 日発行 (2)第 94 号 令和 4 年 11 月 1 日発行 ○在宅福祉部会 ・部会会議：2 回 (1)令和 4 年 10 月 20 日（木）総合福祉会館 第 2 会議室 (2)令和 5 年 2 月 27 日（木）総合福祉会館 第 2 会議室 ○児童福祉部会 ・部会会議：1 回 令和 5 年 2 月 6 日（月）総合福祉会館 視聴覚研修室 役員会：3 回 (1)令和 4 年 8 月 19 日（金）総合福祉会館 第 2 会議室 (2)令和 4 年 10 月 21 日（金）総合福祉会館 第 2 会議室 (3)令和 5 年 3 月 14 日（金）総合福祉会館 第 2 会議室
平塚市	【実践事業、研修事業】 ○ 広報部会：会議 4 回、PR ポスターの掲示、「ひらつか民児協だより」35 号を発行。 LINWORKS とメール及びアンケート方式で部員間の意思疎通を図るとともに、改選時期のため、3 年間の活動の振り返りや意見交換を行った。

	○ 高齢者部会：コロナウイルス感染状況の推移を見計らい、9月21日に保険年金課とフレイルサポーター十数名の協力を得て「フレイルについて」の研修会を23の地区部会員全員の参加を得て行った。 ○ 心身障がい者部会：11月末までの任期のため年度初めに「次期の分科会に申し送れる視点を持つての活動」を掲げた。第1回は、前年度活動報告・今年度の活動検討。心身障がい者部会目線で、福祉計画(第4期)を学ぶ(平障連関係者との意見交換)。第2回は、施設研修(平塚障がい者福祉計画(第4期)で変化した施設、団体への訪問)。8月24日福祉会館にて部会開催を計画した。(1)令和4年度事業計画について(2)平塚市における障がい者支援について(3)講演「視覚障がい者としての人生」、平塚市視覚障がい者協会に依頼した。 ○ 児童部会：児童達が被害者になっている諸問題に対し、実態、対応等について専門家の意見を聞くことと、施設見学を行うことが有意義だと考える。 ○ 主任児童委員連絡会：「情報交換」を中心に各ブロック(北部・中央・南部・西部)に分かれ、コロナ時の子育て支援をどのように活動しているかを焦点に話し合いを予定していた。また、社会福祉協議会主催の「ひらつか子育て支援ネットワークについて」及び行政との関わりの「子ども家庭課の業務内容について」も意見交換をしたいと思っていたが、新型コロナウイルス感染者が急増している状況を鑑み、中止することとした。 ○ 正副会長会議、常任理事会、地区会長会議・理事会、理事研修会、監事会、総会 【調査事業】 ○ 各種実態調査 【住民福祉を实践していくうえで必要な経費】 ○ 広報活動
鎌倉市	【地域福祉活動促進】 ○ 地域福祉活動の充実強化を図るため、経費の一部を交付した。 (各地区@8,000円、1人@1,500円×定数) 【実践事業】 ○ 研究班の活動に対する助成を図った。(各班@30,000円) (1)「提案部会」会議4回：活動テーマを「引継ぎマニュアルの作成」の集大成として、「引継ぎマニュアル」を完成させた。 (2)「広報部会」会議8回：メールのやり取りを中心に、鎌倉市の『社協だより』へ民生委員児童委員の活動紹介記事『みんびょん通信』の掲載を行った。 (3)「福祉部会」会議6回：避難所についてを研究テーマと決め、防災士の方の講義や防災ビデオの視聴、実際に七里ガ浜付近での避難経路を体験した。
藤沢市	【研修事業】 ○ 地区民児協バス視察研修(筑波宇宙センター、そなエリア東京、県内福祉施設等) ○ 地区民児協研修会(活動記録の記入方法について等) ○ 交換民児協(16地区民児協内で毎年2地区のペアを組み行う研修・意見交換・交流事業)※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初予定していた視察研修を中止する地区が多く見られた。 【調査事業】 ○ 実施高齢者世帯現況調査(6月訪問調査)：75歳以上の一人暮らし高齢者・高齢者世帯、

	在宅寝たきり高齢者 訪問調査時の新型コロナウイルス感染症対策グッズの購入、配布資料（困ったときの安心電話帳、緊急連絡帳、委員活動PRカード、連絡先カード等）の作成費 【研究事業】 ○ 指定民児協事業：地域課題の解決や、地区民児協の機能強化等のための研究や事業を行い、終了年度の翌年度に取組結果を報告する。 ・ 六会地区（子育てマップの作成） 【実践事業】 ○ 地区四部会等活動 高齢者福祉対策部会（認知症サポーター養成講座、ロボテラス「生活支援ロボット」の見学・体験、高齢者の熱中症について講座等） 障がい者福祉対策部会（指定障害福祉サービス事業所「えにしんぐ」視察「障害のある方の就労」について、ロボテラス「生活支援ロボット」の見学・体験等） 低所得者福祉対策部会（「藤沢市地域支え合いセンターYell」視察「フードバンクふじさわの現状・パントリー拠点の運営実態」、藤沢における生活福祉支援貸付等の現状講座等） 児童福祉対策部会（世代間交流：小学生の書いた年賀状をひとり暮らし高齢者に届ける、不登校、どう理解しどう関わる？講座等） 【住民福祉を实践していくうえで必要な経費】 ○ 地区民児協活動記録冊子、会報、事例集の作製 ○ ボランティアに係る備品購入費等
小田原市	【研修事業】 ○ 全体研修会 民生委員児童委員が一堂に集まり、資質の向上や地域福祉活動の参考にするため研修会を実施した。 ○ ブロック別研修会：市内 26 地区を 6 ブロックに分け、それぞれにテーマを決めて研修を実施し、各委員会の資質の向上を図った。一時ブロックでは新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点より中止。 ○ 理事研修視察 新型コロナウイルス感染症の関係で中止 ○ 各種福祉団体が主催する研修会への参加 県民児協、県・市社協が開催する研修にオンライン会議等で参加し、民生委員児童委員の活動に必要な知識の習得と資質の向上に努めた。 ○ 一斉改選にかかる引継ぎ事業 一斉改選により委員の交代があった地区では、前任者より 1 カ月間の引継ぎ期間を設けて、新任の民生委員児童委員が不安なく円滑に活動できる環境を整えた。 【共励事業】 ○ 民生委員児童委員大会 民生委員児童委員が一堂に集まり、民生委員児童委員としての職務を再認識した。 （令和 4 年 7 月 14 日に実施） 【部会活動事業】 ○ 部会活動

	新型コロナウイルス感染症の関係で、心配ごと相談部会を除き活動を中止。
茅ヶ崎市	【住民福祉を実践していくうえで必要な経費】 〈地区民児協活動費〉 ○ 地区研修会、勉強会、情報交換会 〈保険加入交付金〉 ○ 保険加入に係る助成 【実践事業】 〈部会活動費〉 ○ 高齢福祉部会：代表者会議 7 回、研修会・講演会 3 回 ○ 障害福祉部会：代表者会議 6 回、研修会・講演会 3 回 ○ 児童福祉部会：代表者会議 8 回、研修会・講演会 3 回 ○ 主任児童委員連絡会：連絡会 12 回（研修会・講演会 6 回含む）ほか 〈広報費〉 ○ 市民児協広報誌「おひさま」第 12 号を令和 4 年 6 月 1 日付で発行。 発行部数：90,000 部 配布先：全戸配布、市内公共施設ほか ○ 主任児童委員パンフレット作成 配布先：市内小中学校新入学生徒保護者 〈旅費〉 ○ 神奈川県民生委員児童委員協議会 総会及び研修会出席
逗子市	【部会活動】 ○ 高齢者福祉部会：会議 3 回 ○ 障がい者福祉部会：会議 3 回（うち研修 1 回） ○ 児童福祉部会：会議 3 回（うち研修 1 回）、他団体（親子ひろば）への協力・支援 ○ 主任児童委員連絡会：会議 12 回、ずし子ども 0 円食堂支援、フードドライブこども応援大作戦支援等
三浦市	【研修事業】 ○ 民生委員児童委員協議会活動の円滑な推進と民生委員・児童委員の資質の向上を図るため、県民事協等が開催する研修会参加した。 【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】 ○ 地区民児協並びに主任児童委員の活動に対し助成を行い、活動の活性化を図った。 ○ 地区民児協の主な活動 ・地域における見守り活動 ・小中学校と連携した学童、生徒の見守り等 ・行政及び社会福祉協議会と連携した福祉サービス利用援助 ○ 主任児童委員の主な活動 子育てサロン「ほっと＊ハート」の開催(令和 4 年度は翌年度の開催方法について検討) 「赤ちゃん訪問」による地域の子育て家庭の把握
秦野市	【研修事業】 1. 「事例に学ぶ地域共生支援センターの取り組みについて」（全体研修） 2. 「子どもの貧困について(支援の現状や今後の方向性、また、民生委員・児童委員に

	期待していること等」(常任理事研修) 3. 県民児協等が開催する研修会への参加(希望者) 【調査事業】 1. 災害への備えは地域全体の課題であり、平時の取り組みが最も重要であることを意識し、「災害に備える民生委員・児童委員活動マニュアル」に基づき、日頃の地域の見守り・地域ぐるみの支援活動に取り組んだ。 (1) 安心カードを令和4年4月1日改正版として、見守り対象者へ配布した。 (2) こんにちは赤ちゃん訪問事業に協力(市主催事業) (3) ひとり暮らし高齢者登録に協力(市主催事業) 【住民福祉を实践するうえで必要な活動】 ① 広報活動 (1) 広報誌「まなざし」年2回発行(組回覧)、教育・福祉関係者へ配布や公共施設に配架した。また、11月には高齢者向けの記事(介護保険の仕組み等)を抜粋した号外を発行、見守り対象者に配布した。 (2) タウンニュースへの安心カードに関する記事の掲載、また、新たに秦野駅、イオン秦野ショッピングセンターのデジタルサイネージでのPR動画の放映を実地した。 (3) 11月の児童福祉推進月間に、虐待防止への願いを込めたハート型メッセージカードを飾ったオレンジリボンツリーを市役所及び保健福祉センターに展示し、児童虐待防止及び民生委員・児童委員リーフレット、ポケットティッシュ等配布した 【実践事業】 1. 各部会・部活動 (1) 地域援護部会：会議4回、勉強会2回、①「みんなで作る防災マップの作り方」講師：市防災課職員、②「避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成に伴うアンケート結果を踏まえた今後の進め方について」講師：防災課職員 (2) 高齢部会：会議4回、勉強会3回、①「神奈川インターネット被害未然防止講座(ワンクリック請求等)」講師：NPO法人情報セキュリティフォーラム事務局、②「緊急時(出火、怪我、事故等)の具体的な対応について」講師：市防災管理課、「発達障害の理解と適切な対応について～誰もが生き生き伸び伸び暮らすには～」講師：社会福祉法人宝安寺社会事業部ほうあん第二しおん所長 (3) 障害部会：会議4回、勉強会3回、①「難病について(難病患者の状況難病を支援する制度・サービス等)」講師：平塚保健福祉事務所秦野センター職員、②「発達障害の理解と適切な対応について～誰もが生き生き伸び伸び暮らすには～」講師：社会福祉法人宝安寺社会事業部ほうあん第二しおん所長 ③「障害の理解(障害全般についての知識、障害に係るマーク、障害種別、配慮のポイント等)」講師：NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター (4) 児童部会：会議3回、勉強会2回、①「ヤングケアラーについて」講師：市こども若者相談担当職員、②「活動を始めたきっかけ、活動上の課題、活動内容、今後の活動について」講師：フードバンクはだの事務局、主任児童委員部との合同研修1回「ファミリー・サポート・センターについて」「子育て支援センター(ぽけっと21)について」「みんなのてについて」 (5) 主任児童委員部会：会議6回、勉強会2回、①「里親体験談～里親になって～〈アン
--	---

	ケート朗読)、DVD 上映、②「こども若者相談担当から現状報告」「こんにちは赤ちゃん訪問事業について」「ヤングケアラーについて」講師：市こども若者相談担当職員、(再掲)児童部会との合同研修 1 回「ファミリー・サポート・センターについて」「子育て支援センター(ぼけっと 21)について」「みんなのてについて」、11 月児童虐待防止推進月間にオレンジリボンツリー(イオン及び保健福祉センター)大小計 3 本設置。 (6) 広報部：会議 12 回、民児協だより 2 回発行(4・10 月)、号外 1 回発行(11 月)
厚 木 市	【研修事業】 ○全員研修：新型コロナウイルス感染症の影響により、15 地区全体での研修ではなく、地区ごとに全員参加による民生委員児童委員の資質向上を図るための DVD 視聴及びグループディスカッション研修を実地。 ○地区研修(4 地区 計 4 回)：各地区の研修支援 ○貸出用研修教材等：自宅等での研修用 DVD・書籍 【実践事業】 ○施設ふれあい部会：会議 2 回、研修 2 回：情報交換・視察研修 ○高齢部会：会議 2 回：会議・情報交換、研修 2 回：講義・視察研修 ○児童部会：会議 1 回：会議・情報交換、研修 5 回：講義・救命講習・視察研修 【住民福祉活動を推進していく上で必要な経費】 各地区民児協(15 地区)ごとに実施 ○ボランティア広報啓発活動(@20,000×15 地区=300,000 円)、ボランティア活動・福祉のまちづくり運動の推進、ボランティアの発掘・把握・育成。地域包括及び地区地域福祉推進委員会並びに地域ボランティア等と連携し、在宅高齢者等の把握と支援活動 ○施設ふれあい活動(@600×303 人+@200 円×1 人=182,000 円) ※@200 円×1 人は令和 4 年 12 月に 1 名増員した委員の 4 ヶ月分の活動費
大 和 市	【研修事業】 ○活動事例集購入。 【調査事業】 ○生活福祉部会：生活福祉資金の適正な運営を図るために市社協と協力し、研修やグループワーク等を通じて制度の理解促進に努めた。計 4 回実施。 ○児童委員部会：大和綾瀬地域児童相談所や市すくすく子育て課との情報交換会を行い、行政との連携強化を図ったほか、主任児童委員同士の情報交換や研修を行った。計 8 回実施。 ○広報部会：委員相互理解を深めるため、民生委員だより「しらかし」を年 2 回発刊。計 7 回実施。 【住民福祉を推進していくうえで必要な事業】 ○地区民児協活動費の交付 ・高齢者世帯に対する安否確認を目的とした訪問活動 ・低所得者に対する相談援助 ・地域住民に対する支援活動
伊勢原市	【地域福祉活動促進事業】 ○子育て支援事業保育クラブ(保育クラブ運営・地域子育てグループ支援) ○地域施設支援事業(高齢者施設等の支援)

	○ 子育て支援地域交流会（小学校・中学校・保育所における交流会実施） ○ 高齢者声かけ事業 ○ 心身障害児声かけ事業 ○ 地区民児協研修会
海老名市	【研修会】 ○ 講師等を依頼した全体研修を 1 回開催。 1 月・テーマ：「民生委員の役割と活動のポイント」 講師：松藤和生氏（K T 福祉研究会 代表） 【広報誌発行】 ○ 広報「ふれあい」を 2 回発行し、第 92 号は市内自治会加入世帯、民生委員把握家庭、公共施設等に配布し、第 93 号は市内全戸に配布した。 ・第 92 号 （6 月 1 日発行） ・第 93 号 （12 月 10 日発行）
座間市	【研修事業】 ○ 全体研修会 ・全体研修会 DVD での研修会を実施。 ○ 会議費 ・全体研修等に係わる会議を実施。 【実践事業・委員会活動】 ○ 主任児童委員会（会議 6 回） ・例年は視察研修の実施や毎月第 2・4 土曜日に子育て広場「よちよち」を開催しているが、新型コロナウイルス感染症流行により中止。 【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】 ○ 広報委員会（会議 6 回） ・施設や行事等取材し、市民児協広報紙「こぼと」の発行にあたる。 ・「民生委員児童委員の日」活動強化週間に合わせてパネル展は新型コロナウイルス感染症流行の影響により中止。 ・ふるさとまつり参加事業にて、パネル展と市民児協広報紙の「こぼと」を配布。
南足柄市	【調査・研究事業】 ○ 避難行動要援護者実態調査 ○ 高齢者部会：情報交換会 障害者部会：情報交換会 こども部会：情報交換会 主任児童委員部会：関係機関との情報交換会 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、施設視察研修は中止 【研修事業】 ○ 障害者部会：車いす実技研修、ボランティア養成研修 子ども部会、主任児童委員部会：子ども部会・主任児童部会研修会 主任児童委員部会：講演会・子ども部会・主任児童部会研修会 【実践事業】 ○ 岡本地区高齢者部会：一人暮らし高齢者への暑中見舞い、年賀状発送

	中央地区高齢者部会：80 歳以上の一人暮らし高齢者全員へ花の鉢プレゼント 主任児童委員部会：新生児訪問事業 【住民福祉を実践していくうえで必要な事業】（民生委員 PR・その他奉仕事業等） 主任児童委員部会：3 ヶ月児・1 歳 6 ヶ月児・3 歳児健診時『子育て応援します』パンフレット配布、子育てサロン協力、なかよしフェスタの開催準備（民生委員パンフレット作成） ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、老人保健施設等支援活動は中止
綾 瀬 市	【研修事業】 ○全体研修会の開催 問題別のテーマを設定し、専門講師による講義を実施する。 年 4 回（6 月・講演会、9 月・日帰り視察研修、11 月・事例発表会、1 月・新任勉強会） 【研究事業】 ○理事会の開催 毎月 1 回理事会を開催し、民児協の運営方法、各種事業への取り組み等協議・検討を行い、組織活動の充実を図った。 ○各地区における研究・活動 地域の福祉ニーズを的確に把握し、その特徴にあった独自の活動を展開した。 【実践事業】 ○各委員会（研修委員会、広報委員会、主任児童委員会）による専門的な特性を生かした各種の関連事業を実施し、地域福祉向上を図った。
愛 川 町	【地区別研修事業＜地区民児協活動＞】 ○ 地区ごとに会議等を開催し、地区の要援護ケースの事例研究や活動報告などの情報交換を行った。 ・北地区研修会：福祉施設、関係機関、福祉ボランティア団体等の視察・研修などを開催及びその他勉強会、定期的な情報交換会 ・南地区研修会：福祉施設、関係機関、福祉ボランティア団体等の視察・研修などを開催及びその他勉強会、定期的な情報交換会 【専門別研究事業＜専門部会活動＞】 ○ 各部会等（障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉等）により、会議及び研修会などを開催し、専門知識の修得と研修を行った。 障がい者福祉部会：研修会、愛川町生活介護事業「かえでの家」見学 他 児童福祉部会：研修会、愛川町子育て支援センター見学 他 高齢者福祉部会：研修会、他 主任児童委員連絡会：定例会議、小・中学校行事や研修会への参加、ケース会議への参加、子育て支援センターとの情報交換、児童相談所との情報交換、町外・町内施設研修、子育てサロンの実施 他 その他自主活動：地域の民生委員及び活動内容紹介のため、広報誌を作成し周知を図った。 【モニター事業】 ○ ねたきり高齢者、認知性高齢者、ひとり暮らし高齢者などの世帯を訪問し、本人をはじめ、家族等の実態やニーズの調査及び把握を行った。

	・ 6 月から 7 月にかけて、訪問調査の実施
清 川 村	【住民福祉推進事業】 ○ 担当地区内の要援護者等に対する訪問活動等 ① 高齢者の見守り（独居高齢者、高齢者のみ世帯などへの訪問活動） ② 訪問活動で聴取した困りごとなどを地域包括支援センターなどへ報告 【調査・研究事業】 ○ 担当地区内の要援護者等に関する情報集約及び福祉ニーズの把握
葉山町	【研修事業】 ○ 全体研修：6 月 15 日 民生委員児童委員全員を対象とした研修の実地。 参加者：34 名
寒 川 町	【実践事業】 ○ 児童部会：部会開催(3 回)、研修開催(2 回)「自立援助ホーム 湘南つばさの家の活動について」 ○ 高齢者部会：会議開催(1 回)、研修開催(4 回)「介護保険について」、「介護アロマについて」、「認知症介護の体験談による意見交換」、「改選前の意見交換」 ○ 障がい者部会：部会開催(4 回)、研修 2 回「障がい者手帳について」、「自閉症児・者親の会による自閉症の人の特徴的な行動と対応について」、車いす体験、事例検討 ○ 編集部会：部会 9 回（ほっこり通信 No.5 作成関連、S M J K Vol.11 作成関連） ○ 主任児童委員部会：部会 8 回、子育てひろば「保健師さんによる計測と相談」、「お母さんと赤ちゃんの遊び場提供」町子どもサポートネットワーク協議会：個別ケース検討、赤ちゃん訪問(電話対応)、父親・母親教室(すずらんコース・あじさいコース・こすもすコース・さざんかコース・すいせんコース)のお手伝い
大 磯 町	【福祉活動事業】 ○ 自主事業 活動強化週間（パネル展示）5 月、高齢者宅への戸別訪問 5 月から 3 月、大磯町民生委員児童委員たより 年 1 回発行 ○ 研修会：普通救命講習会 7 月、研修（テーマ：認知症）7 月、事例発表会 6 月・1 月 ○ 社会福祉協議会事業協力：年末助け合い募金、募金及び配布協力 12 月【コロナ禍により中止】 ○ 町福祉事業協力：敬老祝金品配布協力 9 月【コロナ禍により中止】 ○ 町子育て支援事業協力：こんにちは赤ちゃん事業【コロナ禍により中止】、にこにこ子育て応援団【コロナ禍により中止】 ○ 委員活動：企画運営委員会（月 1 回開催（計 12 回） 広報委員会（計 6 回）展示パネル作成、たより作成等（計 6 回） 防災委員会（計 3 回） ○ 部会活動 高齢者部会：会議 2 回、研修等 4 回 児童部会：会議 3 回、研修等 4 回 障がい者部会：会議 2 回、研修等 3 回 地域福祉部会：会議 3 回、研修等 5 回
二 宮 町	【研修事業】

	○部会ごと研修：日時 令和4年10月12日、20日、21日 場所 平塚市内福祉村及び障がい者支援施設等 内容 施設見学及び意見交換 【啓発事業】 ○一斉改選に伴い、委員活動に使用する地区及び氏名入のゴム印を作成。
中井町	【研修事業】 ○勉強会：6月 地域福祉コーディネーター養成講座 テーマ「子どもとその過程を支えられる地域づくり、地域でこどもを支える ～声をかけられたり、声をかけたり～」 ○視察研修 中止 【調査・研究・実践事業】 ○部会活動 高齢・障がい福祉部会：情報誌の発行2回、DVD研修「中高年のひきこもり」 児童福祉部会：ブックスタートへの参加協力(4回)、歯科検診の参加協力(5回)、未就園児の会等各種行事に参加協力(5回) ○地区活動 中村上地区：定例会5回、包括支援センターとの意見交換会1回 中村下地区：定例会4回、包括支援センターと意見交換会1回、自治会長との懇談会(1回) 井ノ口地区：定例会5回、包括支援センターとの意見交換会1回 ○主任児童委員活動：赤ちゃん訪問8回、産後ケア事業9回、会議・研修会5回
大井町	【全体研修】新型コロナウイルス感染症対策と支援、小学校との情報交換、防災対策について、高齢者施設の選び方について、民生委員児童委員の心得、役割と活動、社会福祉協議会の制度について、地域包括支援センターとの関わりについて、地域活動における個人情報とプライバシーへの配慮(DVD視聴) ○グループワーク ・日頃の民生委員児童委員の活動について ○視察研修(箱根方面) 【実践活動】 ○高齢者部会：学習会、高齢者疑似体験及び車いす操作実習 ○障がい者部門：学習会、事業所見学 ○児童部会：学習会 ○南足柄市中央地区民児協との交流会 ・グループに分かれ、意見交換を実地
松田町	【管理運営費】 ○会議 ①年次総会 ②定例会(12回) 拡大役員会(1回) 本部役員会(12回) ○旅費 県民児協 県社協 その他各研修会 等 への参加 ○ボランティア事故共済保険加入 【活動費】 ○分野別専門部会(高齢者、児童、障害者) 地域部会(第1～第4地域部会) それぞれの分野別共通の課題の事例検討、情報交換、研修、支援活動 等

	○ 担当地域の要援護者、要見守り対象者の実情把握、調査の再点検をし、特に災害時、要支援対象者の対策のため、自治会等と協力し災害時支援体制の確立をはかる ○ 全体研修会の実施（防災食講座、HUG 訓練、日帰り研修会、認知症サポーター養成講座等） ○ 町福祉事業への協力 ・ 敬老会案内・小地域福祉活動への協力 ○ 町社協事業への協力 ・ 賛助会員勧誘及び会費徴収活動・共同募金法人向け募金活動 ○ その他関連機関・施設への支援活動 ・ 児童・生徒の見守り活動・こどもの館行事への支援活動 ・ 社会福祉協議会行事への支援活動・町内施設へのボランティア活動
山 北 町	【研修事業】 ○ 救護及び救急救命講習会（8 月）中止 ○ 交流会(8 月 18 日) グループに分かれて、テーマに沿っての話し合いを実施した。 ○ 各部会(児童部会、奉仕部会等)検討会 各部会において対処法等の検討会を実施した ○ 児童福祉関連施設視察研修 中止 【調査事業】 ○ 世帯調査（4 月 1 日基準） ○ 避難行動要支援者制度調査 ○ 緊急時の連絡先調査（対象 6 5 才以上） ○ 見守り対象者実態調査（対象者把握） 【実践事業】 ○ 町内小・中学校等への奉仕活動 ○ 各地域福祉協議会行事への協力 ○ 町内各行事（「青少年健全育成大会」「敬老のつどい」）等の参加協力 ※「敬老のつどい」については中止 ○ 心配ごと相談（月 1 回）
開 成 町	【研修事業】 ○ 民児協研修：交通安全指導講習を企画し受講。 ○ 委員同士の情報交換・親睦交流のため、カーレット大会を開催。 ○ 定例会のなかで、グループワークの時間を設けた。 【実践活動】 ○ 『ほほえみ通信』を年 4 回作成・発行 ○ 敬老の日おめでとうプロジェクト：メッセージカードを作成。75 歳以上の方を対象に贈呈しました。
箱 根 町	【研修事業】※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 【県内研修】民生委員児童委員の資質向上と見聞を広げるため、研修を実地した 研修場所：湯本富士屋ホテル（箱根町湯本）

	研修内容：地域包括支援センターとの関わりについて、認知症について、生活福祉資金貸付事業について 【住民福祉を实践していくうえで必要な経費】 新任委員が活動に関する知識を深める事によって住民福祉の推進を図るため、新任委員向け、「活動の手引き」を購入した 2022 年版 新任民生委員・児童委員の活動の手引き(10 冊)
真 鶴 町	【研修事業】 ○ 研修会参加費 - 新型コロナウイルス感染拡大予防のため研修なし 【実践事業】 ○ 子育て支援事業等への協力 ・小・中学校との交流会 ・お誕生日会、クリスマス会参加 ・子育て支援マップ改訂 ・子育て支援ガイドブック作成
湯河原町	【研修事業】 ○ 民生委員・児童委員の知識の向上を図るため研修会を開催 ○ 県民児協等主催の民生委員児童委員研修に参加（DVD等による研修会） ○ 定例会開催時にミニ研修会を開催 ○ 西湘ブロック会議主催の研修会に参加 11/10「コロナ禍における学校生活について」DVD研修 参加 45 名程度 1/24「地域住民との関係づくり～伝え方と聞き方について考える～」 - 対面式研修会 35 名参加（小田原生涯学習センターけやきホール） ○ 10/8 民児協主催による「子育てひろば～すくすくハート～」の開催 8 世帯、子育て実行委員 16 名（湯河原町防災コミュニティセンター） ○ 民生委員の知識の向上・相互の連携を図る視察研修を開催 10/11 参加 28 名 盲導犬の里富士ハーネス訪問 ○ 3/23 熱海市民児協交流会（宮下会館） 参加 15 名 災害時等に隣接した熱海市と協力体制をとれるように、令和 4 年度より、日常から熱海市民児協との交流を図ることとした。 【調査事業】 ○ 要援護者等の把握・サービス提供者の調査 - 対象世帯(生活保護世帯・寝たきり老人・ひとりぐらし老人・老人夫婦世帯・在宅重度障害者・母子父子世帯・要保護準要保護児童等)の調査 【実践事業】 ○ 心配ごと相談室（毎月 10 日・20 日）に協力 - 行政相談員、人権擁護委員、法務局と協力し、3 人 1 組の当番制で住民の相談に応じた ○ 社会福祉協議会に協力し、湯河原駅前等で共同募金街頭運動を実施（10/3）参加 5 名 ○ 年末慰問金の配布（12/9～12/31） - 要援護者等に町からの慰問金を個別配布

	○ 福祉タクシー券の配布（3/10～4/5） 在宅重度障害者（1～3級）に福祉タクシー券を個別配布 ○ ねんりんピックかながわ 2022 11/13 開催当時道案内等のボランティア 参加 6 名
--	--

② 地域福祉活動促進費交付額一覧 （単位：円）

横須賀市	1,168,000	大和市	554,000	大磯町	119,000
平塚市	838,000	伊勢原市	307,500	二宮町	108,500
鎌倉市	461,000	海老名市	327,000	中井町	75,500
藤沢市	1,040,000	座間市	309,000	大井町	96,500
小田原市	764,500	南足柄市	152,500	松田町	93,500
茅ヶ崎市	658,000	綾瀬市	286,500	山北町	93,500
逗子市	189,000	愛川町	142,000	開成町	90,500
三浦市	204,000	清川村	55,000	箱根町	104,000
秦野市	531,000	葉山町	117,500	真鶴町	69,500
厚木市	619,500	寒川町	163,500	湯河原町	119,000
				合 計	9,857,000

(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定

① 民生委員児童委員活動推進事業 経費：286,880円※送金手数料含む

多様化する住民のニーズや地域の福祉課題にそった民生委員・児童委員活動の推進をめざし、計画された意欲ある事業を奨励・普及するため、民児協を指定し、経費を助成した。

○ 助成金額合計：286,000円

地域名	事業名	助成額
山北町民児協	令和4年度 山北町子育て支援ガイド「ほほえみマップ」改訂事業	250,000円
伊勢原市成瀬地区民児協	一人暮らし高齢者援助事業（知ってトクする情報ダイヤル一覧）	36,000円

② 指定地区民生委員児童委員協議会への助成 経費：201,100円※送金手数料含む

全国互助共励事業の一環として、民児協運営の充実と地域福祉活動の振興を通じて民生委員・児童委員活動の活性化を図るため、2地区を指定し、1地区年額100,000円（国63,000円、県37,000円）の活動費を助成した。

○ 助成金額合計：200,000円（国：126,000円、県：74,000円）

○ 指 定 期 間：令和3年度から令和4年度の2ヵ年

○ 指定地区民児協の主な活動内容

藤沢市村岡地区民児協

＜会長＞三浦 絹子

＜民生委員数＞31 名

＜世帯数・人口＞約 13,300 世帯 約 32,112 名 内、一人暮らし高齢者(75 歳以上)611 人、
ねたきり高齢者(65 歳以上)9 人、高齢者のみの世帯(75 歳以上)483 世帯

＜取り組んだ重点活動＞

- ・福祉のまちづくり
- ・DVD 研修等を通して、認知症についての理解を深め、今後の民生委員児童の一助とする。

＜具体的取組内容＞

- ①9/14DVD 研修「コロナ禍においても認知症の人と家族が安心して暮らしていくために」(参加者 28 名)
- ②10/7 認知症予防講座(参加者 26 名)
- ③10/11 認知症フレンドリー上映会・講演会(参加者 28 名)
- ④10/31DVD 研修「判断能力が不十分な方の権利を考える～権利擁護と成年後見制度を学ぼう～」(参加者 27 名)

＜実施内容(成果と課題)＞

- ・1 年を通じ、認知症の基礎知識や、認知症の人とその家族について学ぶことで、地域や企業が一体となって環境をつくるのが大切だと感じた。今後の民生委員児童委員活動の一助とすることができた。
- ① 認知症の方やそのご家族に対し、今後より関心を寄せ、民生委員として気にかけるようになった。
- ② 認知症予防講座に参加したことで、認知症や介護に備えることの大切さを学ぶことができた。
- ③ 認知症の方に寄り添う気持ちを育むことができた。
- ④ 相手の権利を守りながら、その人らしく暮らしていけるための支援をしていく方法を学ぶことができた。

小田原市上府中地区民児協

＜会 長＞田邊 淳子

＜民生委員数＞14 名

＜世帯数・人口＞約 4,033 世帯 約 9,990 名 高齢化率 27%に近く、近隣に比べ高い

＜取り組んだ重点活動＞

会場の選定、講師招へい、遊戯グッズの充実、会員ノウハウの取得、広報

＜具体的取組内容＞

- ・永塚公民館のみから高田・千代田公民館の利用
天候と人員がそろえば、外庭での活動
- ・中北薬品管理栄養士の招へい
薬品会社や小田原女子短大研修生を招へい
- ・絵本・おもちゃの購入
グッズの入れ替え実施

・ 社協研修参加 ・ フォロアップ研修参加 ・ カラーポスター作製 <実施内容（成果と課題）> ・ 子育てひろばの活動はもちろんふれあい広場、各地区での毎月実施。 ・ 栄養士の指導により、低栄養の防止とタンパク質の摂取に取り組めた。 ・ 地区の皆様への広報を活性化し、カラーポスター作製等で広くアナウンス。 ・ コロナ禍の中でも、子どもから大人まで参加者が多く参加し大盛況。 ・ 高齢者が参加しやすいように、内容により開催公民館を変更するなど考慮した。

(3) 地域版活動強化方策の策定支援 経費：6,155円 ※送金手数料等含む

地域版活動強化方策の策定にあたり、各地区民児協が計画的にアドバイザーや外部講師の助言・指導を受けるための経費について助成するために令和2年度より支援制度を創設した。

- 「地域版活動強化方策」策定支援助成金額合計：3,080円

地域名	事業名	助成額
伊勢原市成瀬地区民児協	地域版『成瀬地区民生委員児童委員活動強化方策』“ナルミンプラン”策定	3,080円

- 「地域版活動強化方策」策定出張講座

地域名	内容
伊勢原市成瀬地区民児協	「神奈川県版活動強化方策について」の説明

(4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援 経費：503,394円 ※送金手数料含む

各地域におけるニーズに応じた活動の展開を図るため、県内6ブロックそれぞれが実施する会議、研修会および関係機関との連絡会などをブロックの実状に応じて計画し、県民児協はその開催経費の助成を行なった。

- 助成金金額合計：622,700円（うち122,606円戻入）

ブロック名	活動状況
横須賀・三浦 (4市1町) 横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市 葉山町 幹事地域：鎌倉市 助成額：60,000円 (うち28,240円戻)	○会議(2回) 7月1日：第1回ブロック会議 (1)各市民児協における事業について ①令和3年度事業報告・決算 ②令和4年度事業計画・予算 (2)令和4年度横須賀・三浦ブロック会議の活動内容について (3)その他情報交換 12月27日：第2回ブロック会議 (1)一斉改選後の各市町の状況について (2)その他情報交換 3月28日：第3回ブロック会議

入)	(1) 令和 4 年度横須賀・三浦ブロック会議事業報告(案)について (2) 令和 5 年度横須賀・三浦ブロック会議事業計画(案)について (3) 神奈川県民児協共通課題について (4) その他情報交換 ○連絡会(1 回) 11 月 4 日：児童相談所との連絡会議 (1) 児童相談所における最近の相談状況等について ・ 神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所 ・ 横須賀市児童相談所 ・ 質疑 (2) 児童福祉に関わる情報交換 (3) 情報交換
県央 (5 市 1 町 1 村) 厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市 愛川町 清川村 幹事地域：愛川町 助成額：145,000 円 (うち 55,103 円戻 入)	○会議(5 回) 第 1 回県央ブロック会議 ※書面開催 (1) 令和 3 年度事業報告・決算について (2) 令和 4 年度事業計画(案)・予算(案)について (3) 小規模研修会(案)について 第 2 回県央ブロック会議 ※書面開催 (1) 大規模研修会(案)について (2) 児童相談所との連絡会(案)について (3) 市町村民児協活動の情報交換について 1 月 25 日：第 3 回県央ブロック会議 (1) 市町村民児協活動の情報交換について (2) その他 1 月 25 日：主任児童委員情報交換会 (1) 児童委員活動の情報交換について (2) その他 3 月 15 日：第 4 回県央ブロック会議 (1) 令和 4 年度事業報告(案)について (2) 令和 5 年度事業計画(案)について (3) その他 ○研修会(1 回) 7 月 15 日：県央ブロック会議小規模研修会 テーマ：外国籍住民への地域支援について 講師：ボランティアグループユッカの会 代表 中 和子 氏 県央ブロック会議大規模研修会 ※新型コロナウイルスの影響により中止 ○連絡会(1 回) 1 月 25 日：児童相談所との連絡会 (1) 児童相談所の現状と課題について (2) その他

湘南東 (2市1町) 藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町 幹事地域：藤沢市 助成額：60,000円	○会議(4回) 5月26日：第1回湘南東ブロック会議 (1) コロナ禍においての市、地区民児協研修会の開催方法等について (2) コロナ禍での委嘱状伝達式の開催方法について (3) 避難行動要支援者名簿の活用方法について 8月31日：第2回湘南東ブロック会議 ※オンライン開催 (1) 一斉改選の推薦状況について (2) 新旧委員の引き継ぎについて (3) 支援・見守り対象者の確認方法について (4) その他 ・ 民生委員を名乗る不審電話についての意見交換 ・ 8/29～30 読売新聞朝刊に「民生委員」の特集記事掲載 (茅ヶ崎市からの情報提供) 10月26日：第3回湘南東ブロック会議 (1) 救急現場における民生委員への情報提供について (2) 新任委員研修について (3) 退任慰労会について (4) 民生委員(活動)の周知方法について 3月29日：第4回湘南東ブロック会議 (1) オンライン端末の操作が不慣れな方へ向けたサポートについて (2) 令和4年度一斉改選の実施結果について (3) 令和5年度事業計画(案)について (4) その他 ・ 活動記録の考え方についての意見交換、他情報提供
湘南西 (3市2町) 平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町 幹事地域：大磯町 助成額：40,000円	○会議(2回) 令和4年度第1回湘南西ブロック全体会議 (1) 令和4年度事業計画について (2) 各市町民児協からの提案議題にかかる意見交換について 令和4年度第2回湘南西ブロック全体会議 ※新型コロナウイルスの影響により書面開催 (1) 令和4年度事業報告について (2) 令和4年度決算収支案について (3) 提案議題にかかる意見交換について (4) 令和5年度幹事について
足柄上 (1市5町) 南足柄市 中井町 大井町 松田町 山北町	○会議(8回) 4月27日：会計監査 (1) 令和3年度会計監査 (2) 令和4年度事業案・予算案の調整 4月27日：第1回・ブロック会議 (1) 足柄上ブロック会務報告(令和3年度) (2) 令和3年度事業報告

開成町 幹事地域：山北町 助成額：187,700 円	(3) 令和 4 年度事業計画 (4) コロナ禍における活動について 6 月 14 日：南足柄市中央地区/大井町 交換民児協 (1) ワークショップ テーマ「新型コロナウイルスが民生委員児童委員活動に与えた影響」 ・小グループでの討論 ・グループ発表 8 月 30 日：ブロック会長会議 (1) 大規模研修会(第 1 回)について (2) 一斉改選等、今後の活動予定について (3) 情報交換 11 月 16 日：第 2 回・ブロック会議 (1) 足柄上ブロック会務報告(4～9 月) (2) 一斉改選後の活動について (3) 各民児協の活動状況の情報交換 12 月 19 日：ブロック会長会議 (1) 足柄上地区ブロック民児協の運営について 改選後の運営体制モデルについての検討 (2) 大規模研修会(第 2 回)について 3 月 10 日：ブロック会長会議 (1) 令和 5 年度事業、活動体制構想の検討 (2) 小田原市保健福祉事務所足柄上センター(民生委員代表者会議)との連携関係の検討 3 月 23 日：ブロック会長会議 (1) 令和 4 年度会計状況確認、監査日程調整等 (2) 令和 5 年度事業案・予算、活動体制の検討 (3) 小田原保健福祉事務所足柄上センター(食生活対策協議会)のフレイル予防事業協力要請の検討 ○研修会(3 回) 11 月 1 日：小規模研修会 講演：「地域の子どもを見守るみなさんへ」 講 師：菊池 正敏 氏(社会福祉法人児童養護施設 ゆりかご園長、元県厚木児童相談所所長) 9 月 20 日：令和 4 年度第 1 回大規模研修会 講演：「発達障害を知る一児童期を中心に」 講 師：吉澤 宏次 氏(社会福祉法人宝安寺社会事業部ほうあん第二しおん所長、秦野市渋沢地区民生委員児童委員、元神奈川県発達障害支援センター職員) 1 月 25 日：令和 4 年度第 2 回大規模研修会 講演：「コロナ禍の地域とともに歩む これからの民生委員児童委員活動に向けて」
---	--

	講 師:渡邊 朋子 氏(神奈川県民生委員児童委員協議会事務局長、神奈川県社会福祉協議会地域福祉部長) ○連絡会(2回) 4月27日:第1回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会(足柄上地区民生委員児童委員代表者会議) (1) 小田原保健福祉事務所足柄上センターからの連絡 ・新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 ・令和4年度足柄上センター事業の概要 11月1日:第2回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会(足柄上地区民生委員児童委員代表者会議) (1) 小田原保健福祉事務所足柄上センターからの連絡 ・新型コロナウイルス感染症に関する情報提供
西湘 (1市3町) 小田原市 箱根町 真鶴町 湯河原町 幹事地域:真鶴町 助成額:130,000円 (うち39,263円戻入)	○会議(3回) 令和4年度第1回西湘ブロック会議 (1) 第1回西湘ブロック研修会について (2) 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3) 情報交換・意見交換 (4) その他 令和4年度第2回西湘ブロック会議 (1) 第2回西湘ブロック研修会について (2) 今後の役員について (3) 情報交換・意見交換 (4) その他 令和4年度第3回西湘ブロック会議 (1) 令和4年度事業報告及び会計報告について (2) 令和5年度西湘ブロック会議の運営について (3) 情報交換・意見交換 (4) その他 ○研修会(2回) 令和4年度第1回湘南西ブロック研修会 テーマ:コロナ禍における学校生活について 講師:真鶴町教育長 瀬瀬 仁志 氏 令和4年度第2回湘南西ブロック研修会 テーマ:地域住民との関係づくり～伝え方と聞き方について考える～ 講師:一般社団法人プレゼンテーション検定協会 代表理事 脇谷 聖美氏

(5) 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施 経費：1,589,870円

※送金手数料含む

民生委員・児童委員が地域での福祉活動等に参加する際に発生する事故や怪我に対して安心して活動できるよう、各市町村民児協で民生委員・児童委員に対しての保険加入を促進するために、掛け金の一部を助成した。

＜助成金交付状況＞※人数は延べ人数

市町村名	助成人数(人)	合計額(円)	市町村名	助成人数(人)	合計額(円)
横須賀市	0	0	綾瀬市	171	51,300
平塚市	515	154,500	愛川町	95	28,500
鎌倉市	285	85,500	清川村	16	4,800
藤沢市	622	186,600	葉山町	73	21,900
小田原市	456	136,800	寒川町	91	27,300
茅ヶ崎市	411	123,300	大磯町	74	22,200
逗子市	79	23,700	二宮町	67	20,100
三浦市	99	29,700	中井町	42	12,600
秦野市	345	103,500	大井町	52	15,600
厚木市	399	119,700	松田町	52	15,600
大和市	335	100,500	山北町	62	18,600
伊勢原市	196	58,800	開成町	51	15,300
海老名市	210	63,000	箱根町	51	15,300
座間市	184	55,200	真鶴町	25	7,500
南足柄市	85	25,500	湯河原町	66	19,800
			合計	5,209	1,562,700

(6) 生活福祉資金の積極的活用、社協との協働の促進

低所得、障がい者、高齢者世帯の生活自立支援に向け、生活福祉資金制度等の積極的な活用を図るため、県社協で開催した新任民生委員児童委員やリーダー層に対する研修へ協力を行った。

また、県社協が民生委員児童委員を対象に実施した、テーマ別研修Ⅰ・Ⅱや、福祉関係者を対象に実施した県社協の諸事業に参加・協力した。

3. 児童委員活動の推進（基盤づくり） 経費：665,791円

(1) 児童委員・主任児童委員連絡会議の開催

各市町村民児協の児童委員、主任児童委員を対象に、各民児協間での情報交換や日頃の活動を進める上での知恵を出し合い、今後の活動に資することを目的に本連絡会を開催した。

開催期日	内 容
4.10.3 (45名) 於：ワールド ポーターズ	「子どもや子育て家庭の支援に向けて～地域における児童委員・主任児童委員活動のこれからを考える」 ・課題提起「子どもや子育て家庭をめぐる状況と課題」 スピーカー：神奈川県中央児童相談所 瀧本 康二 氏 ・取り組み紹介「地域における児童委員・主任児童委員活動」

	・情報交換「児童委員・主任児童委員として、これからの活動を考える」 ・発表・まとめ
--	--

(2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催

県内の児童委員、主任児童委員が集い、児童委員活動推進に向けて協議を行う児童委員・主任児童委員活動推進会議を開催した。

開催期日	内 容
4. 10. 31 (174 名 (会場 25 名、オンライン 149 名)) 於：横浜情報文化センター	【会場及びオンラインの併用にて開催】 「ヤングケアラーの現状と課題」 第 1 部 【講義】 ・ヤングケアラーとは ・ヤングケアラーへの支援が必要な社会的背景 ・ヤングケアラーの現状・課題 講師：中嶋 圭子 氏 (一般社団法人日本ケアラー連盟 理事) 第 2 部 【経験談】 ・ヤングケアラーの経験を振り返って ・ヤングケアラーが抱える悩み・困難 スピーカー：沖村 有希子 氏 (元ヤングケアラー/一般社団法人日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト第 3 期スピーカー) 第 3 部 【全体協議】 ・同じ地域で暮らす児童委員・主任児童委員としてできること ・質疑応答

4. 研修事業の実施（本会主催研修事業） 経費：3, 234, 649円

本会事業から見えてきた課題をもとに研修テーマを設定し、本会主催の研修を開催した。

(1) 市町村民児協会長研修会

開催期日	内 容
4. 9. 28 (23 名) 於：ホテルプラム	「今期の振り返り～コロナ禍で見た委員活動の重要性と次期につなぐべき活動」 ・オリエンテーション・導入 (15 分) 進行：事務局 ・振り返りのワーク ① 「今期感じた課題」について ② 「課題解決のためにできること」について ・全体共有 ・終わりに

(2) 単位民児協会長研修会

開催期日	内 容
■第1回 4.7.4 (単位民児協会長・市町村民児協事務局職員153名)	「自分も相手も大切にするコミュニケーション方法「アサーション」を学ぼう」 ・自己表現の3つのタイプ（アサーションとは） ・ものの見方・考え方とアサーション ・アサーティブコミュニケーションのポイント 講師：並木 友里 氏（株式会社日本・精神技術研究所 心理サービス部 マネージャー）
■第2回 4.12.21 (単位民児協会長・市町村民児協事務局職員143名)	「民生委員・児童委員のためのメンタルヘルス～自分のストレスに気づき、上手に向き合うために～」 ・ストレスとは ・自分のストレスを知る ・ストレスとの上手な付き合い方 講師：稲富 正治 氏（川崎こころのケアセンター センター長 / 公認心理師・臨床心理士）
■第3回 5.3.30 (単位民児協会長・市町村民児協事務局職員149名)	「新体制でのチームづくりのためのコミュニケーション」 ・単位民児協という組織におけるコミュニケーションの特徴 ・新体制でのチームづくりのためのコミュニケーションを学ぶ（演習） ・よりよいチームづくりに向けたヒント 講師：川合 雅子 氏（株式会社 WECOP 元代表取締役）

(3) 課題別集中講座

開催期日	内 容
4.8.1 ～4.10.31 (受講者 833 名)	【オンデマンド配信及び DVD 貸出による開催】 「判断能力が不十分な方の権利を考える～権利擁護と成年後見制度を学ぼう～」 ・判断能力が不十分な方の権利擁護と成年後見制度 ・相手の権利を守るためには（事例検討） ・同じ地域で暮らす民生委員・児童委員としてできること 講師：千木良 正 氏（弁護士・社会福祉士）

(4) オンライン情報交換会

コロナ禍で委員同士の交流が減り、他地区とのかかわりも減ってしまっているなかで、感染対策をしながらどのように活動しているのか、情報交換を行うことで活動の活性化や工夫につなげることを目的に開催した。

①第1回：参加を希望される単位民児協会長を対象に実施

開催期日	内 容
4.8.17 (38 名)	・メッセージ「単位民児協会長として見せたい「大変」より楽しい」姿 メッセンジャー：大貫君夫氏（相模原市民児協 会長） ・情報交換「単位民児協としての民児協運営への想いと工夫」

	・全体共有 ・まとめ・終了 ・(希望される方のみ) フリータイム
--	--

③ 第2回：テーマに関心のある民生委員・児童委員（主任児童委員含む）を対象に実施

開催期日	内 容
4.9.8 (39名)	・メッセージ「子ども時代の『支えられる経験』を地域で育もう」 「ケアラー支援事業のご紹介」 メッセンジャー：中島契恵子氏（県社協地域福祉部地域課 相談員） ・情報交換「児童委員としての子どもや子育て家庭との関係づくりの大切さやウィズコロナでの活動方法等」 ・全体共有 ・まとめ・終了 ・(希望される方のみ) フリータイム

5. 情報提供の強化

(1) 『県民児協だより』の発行 経費：2,314,909円

『県民児協だより』（149号～152号）を発行し、発行に向け広報委員会を4回開催した。また、150号を記念し、表紙を一新した。

(※ 1.(2)②「広報委員会」、③「通信員連絡会」の項参照)

<発行回数及び部数> 4回 各5,000部

<配布先> 民生委員・児童委員、関係機関団体等

<掲載内容>

号数	コーナー名	掲載内容
149号	まなざし	大和市民児協
	特集①	変わらない「きづく・つなぐ・みまもる」活動～新たな神奈川県版活動強化方策に込めた想いとは～ 活動のヒント・ポイント：中村 美安子氏（神奈川県立保健福祉大学教授）
	特集②	令和4年度神奈川県の重点的な取り組み
	特集③	令和4年度県民児協 事業計画・予算
	通信員だより	① みんなぴょんと一緒に頑張っています（鎌倉市 川田 順一） ② 福祉活動「おたがいさまネット」に参加して（南足柄市 久積 瑠美子） ③ 「つながりを切らさない」（大磯町 庄司 幸夫）
150	まなざし	伊勢原市民児協
	特集	3年間の委員活動を振り返って～2019-2022年の主な動き～

号	活動研究レポート No.48	① 「地域版活動強化方策」の策定に向けて 活動のヒント・ポイント：金井 敏氏（高崎健康福祉大学教授） ② 外国につながる人と民生委員・児童委員との関わり 活動のヒント・ポイント：朝倉 美江氏（金城学院大学教授）
	NEWS&インフォ メーション ／編集雑感	・第82回関東ブロック民生委員児童委員活動研修協議会 ・編集雑感（広報委員 高田 陽子）
	通信員だより	① 民生委員ってなあに？児童委員ってなあに？（平塚市 井上 勝博） ② ずし子ども0円食堂は笑顔の場に（逗子市 松岡 蓉子） ③ 地域の事を話し合う会（箱根町 芝 京子）
151 号	まなざし	海老名市民児協
	特集①	訪問時に住民と信頼関係を築くポイント
	ひとネットワーク	ひとりひとりのカラーを大切に
	解説	地域包括支援センターの紹介
	NEWS&インフォ メーション	・第91回全国民生委員児童委員大会 ・児童委員活動の推進に向けて
	通信員だより	① 困ったときはガイドを見てね（茅ヶ崎市 中尾 圭子） ② コロナ禍での3年間（秦野市 廣川 士朗） ③ 一人で悩まずチームの知識で解決します（山北町 細谷 榮一）
152 号	まなざし	座間市民児協
	特集①	県民児協新役員体制のご紹介
	特集②	県・県社協からの激励メッセージ
	特集③	令和4年度受章（賞）者紹介
	活動研究レポート No.49	民生委員が「一人で抱え込まない」ために 活動のヒント・ポイント：小林 雅彦氏（国際医療福祉大学教授）

また、県民児協だよりに挟み込む形で別刷りの資料を作成し、配布した。

- ・活動の振り返りや一斉改選に向けた引き継ぎの準備のために（県民児協だより150号に挟み込み）
- ・神奈川県民児協データファイル No.30（県民児協だより152号に挟み込み）
「令和3年度活動記録の集計結果について」
- ・神奈川県民児協データファイル No.31（県民児協だより152号に挟み込み）
「令和3年度個別援助票集計結果概要の報告」

(2) 個別援助票の手引き・発行

総合企画委員会にて検討を進めた「個別援助票の手引き（令和 5 年（2023 年）3 月版）」を発行した。

〈発行数〉冊子 5,000 冊

(3) 民生委員児童委員活動の広報の強化

① 民生委員児童委員活動 P R 事業

各地域での PR 活動に活用できるよう、神奈川県民児協キャラクター「みんぴょん」をモチーフにした PR グッズを配布した。

〈住民説明用パンフレット【令和 4 年度版】〉

増刷数：50,000 部



② 県民児協ホームページ等の運営

ホームページを令和 3 年度にリニューアルし、写真や動画で分かりやすく伝えるために「県民児協だより」等の掲載を随時更新、委員専用ページへのパンフレットやみんぴょんデータ、研修資料の掲載、関連団体の研修情報を掲載する等様々な活用を行った。

また、市町村・地区民児協からのお知らせページについて、市町村民児協事務担当者会議にて掲載方法等の説明を行い、地域の広報誌やイベント等の情報を掲載し、情報発信ツールの 1 つとしての活用を図った。

このほか、全民児連や全社協、県等の関係機関団体より民生委員・児童委員を対象に発行された資料等を市町村民児協を通じて、随時、情報として提供した。

③ 研修用 DVD 等研修資材の整備

各地区民児協の研修、学習会等の教材として役立つ書籍や DVD を購入・貸出用として整理し、各市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。

貸出件数：5 件

④ P R 用ビブスの貸し出し

民生委員・児童委員 PR 用のビブスを各市町村民児協事務局を通じて貸出の案内を行った。

貸出件数：1 件

6. 全国・関東ブロック会議等への参加

年 月 日	会 議 名	開催地	参加者数
4. 10. 19～20	令和 4 年度全国民生委員児童委員大会	愛知県 名古屋市	9 名
4. 7. 28～29	令和 4 年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会	静岡県 浜松市 (幹事市)	6 名
動画提供期間 5. 1. 10～2. 19	令和 4 年度全国児童委員・主任児童委員活動研修会 ①児童委員・主任児童委員共通プログラム ②主任児童委員研修プログラム	—	①467 名 ②1 名

	※ICT 活用の推進と新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講義動画配信及び講義動画 DVD の貸し出しにより実施		
動画提供期間 4. 12. 5～ 5. 3. 13	令和 4 年度民生委員・児童委員リーダー研修会 ※ICT 活用の推進と新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講義動画配信及び講義動画 DVD の貸し出しにより実施	—	342 名
5. 2. 1～2. 3	令和 4 年度全国民生委員指導者研修会	神奈川県	2 名
4. 6. 22	令和 4 年度都道府県・指定都市児協事務局会議 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会場及びオンラインの併用にて開催	東京都	2 名

7. 関連機関・団体との連携、協働

- (1) 県社会福祉審議会、県児童福祉審議会をはじめとした県関係の高齢・障がい・児童等の福祉関係の審議会や委員会等のほか、神奈川県学校・家庭・地域連携協力推進委員会などの教育関係の会議等に参加・協力するとともに、神奈川県共同募金会などの関係団体の会議等に参加・協力した。

また、神奈川県精神保健福祉協会、北方領土返還要求運動神奈川県民会議に負担金を納めるとともに、事業への参加・協力を行った。

- (2) 神奈川県・横須賀市からの委託事業として県社協が実施する研修事業の開催に協力した。これらは、民生委員法に基づく民生委員の指導訓練のために行政機関が行う研修となっている。

①新任民生委員児童委員研修会

新任委員（令和 4 年 12 月 1 日以降に新たに委嘱された民生委員児童委員（主任児童委員を含む）、および本研修未受講の民生委員児童委員（主任児童委員を含む））を対象に開催

開催期日等	内 容
4. 12. 26～5. 3. 10 (申込者 1,460 名)	【オンデマンド配信及び DVD 貸出による開催】 ①講義：「民生委員児童委員の役割と活動の基本」 講師：小林 雅彦（国際医療福祉大学 医療福祉学部 学部長・教授） ②メッセージ：「民生委員児童委員のやりがいと楽しさ」 メッセンジャー：桐生 行雄（神奈川県民生委員児童委員協議会 会長・海老名市民生委員児童委員協議会 会長）、佐野 美智子（神奈川県民生委員児童委員協議会 副会長・横須賀市民生委員児童委員協議会 会長） ※役職は令和 4 年 11 月 30 日時点のもの。 ③説明：「生活福祉資金貸付事業の概要と民生委員児童委員の役割」 説明者：神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部 生活支援課 ④説明：「個別援助票・調査事務・活動記録について」 説明者：神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課

② 民生委員児童委員会長部会長研修会

単位地区民児協正副会長、各種正副部会長等リーダー層を対象に開催

開催期日等	内 容
4. 12. 26～5. 3. 10 (受講者 376 名)	【オンデマンド配信及び DVD 貸出による開催】 〔テーマ〕 定例会で役立つファシリテーション 〔内 容〕 【事前課題】 これまでの会議の様子を振り返る ・ファシリテーションとは ・準備の基本 ・対話の場づくりへの留意点 ・現場の事例から考える定例会の改善ポイント 【実践課題】 現在の会議の準備段階を点検して改善に着手する 〔講 師〕 加留部 貴行 (NPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー)

③ 民生委員児童委員テーマ別研修Ⅰ・Ⅱ

開催期日等	内 容
テーマ別研修Ⅰ 4. 12. 26～5. 3. 10 (受講者 972 名)	【オンデマンド配信及び DVD 配布による開催】 〔テーマ〕 「精神疾患のある方々の地域での暮らしを支える ～精神疾患とその家族をとりまく状況の理解と課題～」 〔内 容〕 ・精神保健福祉の重要性 ・精神障害の障害特性 ・日本の精神障害施策の歴史的課題 ・精神障害者の家族が経験する具体的困難さへの理解 〔講 師〕 小田 敏雄 (田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 教授)
テーマ別研修Ⅱ 4. 12. 26～5. 3. 10 (受講者 1, 140 名)	【オンデマンド配信及び DVD 配布による開催】 〔テーマ〕 地域活動における個人情報とプライバシーへの配慮 〔内 容〕 ・民生児童委員活動における個人情報保護問題 ・民生児童委員活動と個人情報への配慮 ・災害時要援護者支援と個人情報保護 ・ケーススタディ 〔講 師〕 川上 富雄 (駒澤大学 文学部社会学科社会福祉学専攻 教授)

(3) 全民児連分担金として 3, 130, 400 円を納めた。

(4) 関東甲信越 1 都 10 県 8 政令市の民生委員・児童委員をもって組織する関東ブロック民生委員児童委員連合協議会会費として 92, 780 円を納めた。

(5) 県社協民生委員児童委員部会に正副会長が委員として参画した。また、県社協民生委員児童委員部会より、令和 4 年度民生委員児童委員部会活動助成費として 781, 000 円が交付された。

(6) 県地域福祉課「令和 4 年度版民生委員児童委員活動の手引き」の発行にあたり協力した。

決 算 報 告

令和4年度 神奈川県民生委員児童委員協議会収入支出決算書(案)

収入決算額

55,719,813 円

自 令和4年4月1日

支出決算額

51,936,485 円

至 令和5年3月31日

差引残額

3,783,328 円 (次年度へ繰越)

(収入の部)

(単位 円)

科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減(△) (③-④)	説 明
大区分	小区分						
1. 会費		29,087,000	0	29,087,000	29,068,000	19,000	
1. 会費		29,087,000	0	29,087,000	29,068,000	19,000	
1. 会費		29,087,000	0	29,087,000	29,068,000	19,000	年会費(@6,500)×実数 29,068,000
2. 補助金		14,207,000	0	14,207,000	15,612,000	▲1,405,000	
1. 補助金		5,523,000	0	5,523,000	5,515,000	8,000	
1. 補助金		5,523,000	0	5,523,000	5,515,000	8,000	神奈川県 4,555,000 横須賀市 960,000
2. 神奈川県委託費		0	0	0	0	0	
1. 神奈川県委託費		0	0	0	0	0	
3. 全社協助成金		7,908,000	0	7,908,000	9,316,000	▲1,408,000	
1. 全国互助共励事業 助成金		7,908,000	0	7,908,000	9,316,000	▲1,408,000	互励事業費補助 7,446,000 共励事業費補助 528,400 取扱事務費補助 1,341,600
4. 県社協助成金		776,000	0	776,000	781,000	▲5,000	
1. 民生委員部会助成金		776,000	0	776,000	781,000	▲5,000	

3. 諸収入	39,000	0	39,000	81,984	▲42,984	
1. 雑収入	39,000	0	39,000	81,984	▲42,984	
1. 物資斡旋収入	9,000	0	9,000	0	9,000	
2. 雑収入	30,000	0	30,000	81,984	▲51,984	預金利息、図書斡旋等
4. 積立金取崩収入	7,295,000	0	7,295,000	9,452,307	▲2,157,307	
1. 積立金取崩収入	7,295,000	0	7,295,000	9,452,307	▲2,157,307	
1. 退任記念品取崩収入	3,490,000	0	3,490,000	5,921,485	▲2,431,485	
2. 一斉改選積立金取崩収入	1,646,000	0	1,646,000	1,371,822	274,178	
3. 運用準備積立金取崩収入	2,159,000	0	2,159,000	2,159,000	0	
5. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
1. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
1. 基本財産繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
6. 繰越金	1,200,000	305,522	1,505,522	1,505,522	0	
1. 繰越金	1,200,000	305,522	1,505,522	1,505,522	0	
1. 前年度繰越金	1,200,000	305,522	1,505,522	1,505,522	0	
収入合計	51,838,000	305,522	52,143,522	55,719,813	▲3,576,291	

(支出の部)

(単位 円)

大区分	科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③ (①+②)	決算額 ④	差異 (③-④)	執行率 (③/④)	説	明
	中区分	小区分								
1. 運営費	1. 役員費		14,865,000	100,000	14,965,000	13,260,602	1,704,398	88.6%		
			1,621,000	0	1,621,000	1,060,821	560,179	65.4%		
		1. 役員会費	1,559,000	0	1,559,000	1,044,761	514,239	67.0%	正副会長会議 常任理事会 監事会 総会	68,640 211,723 728,328 27,470 8,600
									正副会長・各種委員会委員等 大会祝金・慶弔費用	
	2. 管理費	2. 役員旅費	21,000	0	21,000	4,460	16,540	21.2%		
		3. 役員交際費	31,000	0	31,000	11,600	19,400	37.4%		
		4. 支援・交流費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
			13,244,000	100,000	13,344,000	12,199,781	1,144,219	91.4%		
		1. 職員旅費	6,000	0	6,000	4,357	1,643	72.6%	事務局職員	
		2. 需用費	532,000	0	532,000	325,248	206,752	61.1%	消耗品費 印刷製本費	3,840 321,408
2. 育成事業費	1. 研修費	3. 役務費	276,000	0	276,000	66,825	209,175	24.2%	送金手数料、通信運搬費	
		4. 借料及び損料	206,000	100,000	306,000	66,000	240,000	21.6%	会計ソフト管理料	66,000
		5. 備品費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
		6. 負担金	12,204,000	0	12,204,000	11,737,351	466,649	96.2%	全社協互助共励会費 全児連会費 関プロ会費 県内団体会費等 全国事務担当者会議	8,496,800 3,130,400 93,110 15,000 2,041
		7. 関プロ負担金	0	0	0	0	0	0.0%		
		8. 賃金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
			26,036,000	205,522	26,241,522	24,026,693	2,214,829	91.6%		
			5,091,000	105,522	5,196,522	5,032,319	164,203	96.8%		
	2. 調査広報費	1. 研修会費	3,812,000	105,522	3,917,522	3,900,440	17,082	99.6%	市町村民児協会長研修 地区民児協会長研修 課題別集中講座 オンライン情報交換会 児童委員活動推進関連事業 研修企画用通信運搬費等	498,687 1,678,575 395,985 12,031 665,791 649,371
		2. 全国会議等研修会	1,279,000	0	1,279,000	1,131,879	147,121	88.5%	全国大会 関東ブロック活動研究協議会 全国民生委員指導者研修会 全国児童委員活動研修会 (Web)	658,064 373,305 97,770 2,740
		1. 委員会費	6,221,000	100,000	6,321,000	4,935,318	1,385,682	78.1%	総合企画委員会 広報委員会 通信員連絡会	133,284 123,677 159,630
			727,000		727,000	416,591	310,409	57.3%		

	2. 広報活動費	5,452,000	100,000	5,552,000	4,471,791	1,080,209	80.5%	県民児協だより発行費 民生委員児童委員活動PR作成費 HP運営費 手引き作成費 情報提供等通信運搬費等 事務担当者会議 県行政との懇談会	2,314,909 843,018 254,105 322,136 737,623 1,056 45,880
	3. 連絡調整	42,000	0	42,000	46,936	△ 4,936	111.8%		
	3. 地域福祉活動費	14,714,000	0	14,714,000	14,059,056	654,944	95.5%		
	1. 市町村民児協 支援費	9,857,000	0	9,857,000	9,873,500	△ 16,500	100.2%	※当該年度の定数を基準に積算	
	2. 活動推進費	4,125,000	0	4,125,000	3,697,576	427,424	89.6%	個別援助票等印刷代 プロジェクト別活動助成費 保険掛金助成金 活動強化方策策定支援助成金 必携購入費	822,250 503,394 1,589,870 6,155 775,907
	3. 指定民児協 推進費	732,000	0	732,000	487,980	244,020	66.7%	指定民協助成 活動推進事業	201,100 286,880
	4. 物資斡旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
	1. 物資斡旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
3. 互助事業費		6,968,000	0	6,968,000	8,789,585	△ 1,821,585	126.1%		
	1. 県単互助事業費	1,390,000	0	1,390,000	1,280,000	110,000	92.1%		
	1. 県単弔慰金	440,000	0	440,000	500,000	△ 60,000	113.6%		
	2. 県単見舞金	950,000	0	950,000	780,000	170,000	82.1%		
	2. 全国弔慰金	2,035,000	0	2,035,000	1,587,000	448,000	78.0%		
	1. 全国弔慰金	715,000	0	715,000	735,000	△ 20,000	102.8%		
	2. 全国見舞金	1,320,000	0	1,320,000	852,000	468,000	64.5%		
	3. 退任記念品作成費	3,543,000	0	3,543,000	5,922,585	△ 2,379,585	167.2%		
	1. 退任記念品作成費	3,543,000	0	3,543,000	5,922,585	△ 2,379,585	167.2%		
4. 積立金		3,959,000	0	3,959,000	5,859,605	△ 1,900,605	148.0%		
	1. 積立金	3,959,000	0	3,959,000	5,859,605	△ 1,900,605	148.0%		
	1. 退任記念品積立金等	3,939,000	0	3,939,000	5,859,605	△ 1,920,605	148.8%	退任記念品積立金	
	2. 運用準備金積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
	3. 一斉改選積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
5. 予備費		10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
	1. 予備費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
	1. 予備費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
支出合計		51,838,000	305,522	52,143,522	51,936,485	207,037	99.6%		

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	5,139,539	流動負債	677,799
現金	1,495	未払金	677,799
預金	5,068,744	預り金	0
未収金	0		
立替金	0		
前払費用	69,300		
		基金	21,838,596
固定資産	34,482,408	基本財産基金	21,838,596
基本財産	21,838,596		
預金	21,838,596		
		積立金	13,322,224
運用財産	12,643,812	退任記念品作成準備積立金	3,795,669
預金	12,643,812	運用準備金積立金	8,848,143
		一斉改選積立金	678,412
		繰越金	3,783,328
		繰越金	3,783,328
資産合計	39,621,947	負債・純財産合計	39,621,947

固 定 資 産 増 減 明 細 書

令和5年3月31日現在

(単位:円)

資産	期首繰越	期中増	期中減	期末残高	
基本財産	21,838,226	370	0	21,838,596	(別表1-(g))
預金	21,838,226	370	0	21,838,596	
運用財産	14,862,874	5,862,193	8,081,255	12,643,812	(別表1-(c+d+e))
固定資産	14,862,874	5,862,193	8,081,255	12,643,812	
預金	14,862,874	5,862,193	8,081,255	12,643,812	
その他固定資産	0	0	0	0	
	36,701,100	5,862,563	8,081,255	34,482,408	

積 立 金 明 細 書

令和5年3月31日現在

(単位:円)

区分	前期繰越金	当期		貸借対照表 計上額	
		増加額	減少額		
1. 退任記念品作製準備積立金	3,855,890	5,862,034	5,922,255	3,795,669	(別表1-(c))
2. 運用準備金積立金	11,006,984	159	2,159,000	8,848,143	(別表1-(d)+(e))
3. 一斉改選積立金	2,051,096	18	1,372,702	678,412	(別表1-(f))
合 計	16,913,970	5,862,211	9,453,957	13,322,224	

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(資 産)		39,621,947 円	
1. 基 本 財 産		21,838,596 円	
(1) 預 金		21,838,596 円	(別表1) (g)
2. 運 用 財 産		17,783,351 円	
流 動 資 産		5,139,539 円	
(1) 現 金		1,495 円	
(2) 預 金		5,068,744 円	(別表1) (a)+(b)+(f)
(3) 前 払 費 用		69,300 円	(別表2)
(4) 立 替 金		0 円	
(5) 未 収 金		0 円	
固 定 資 産		12,643,812 円	
(1) 預 金		12,643,812 円	(別表1) (c)+(d)+(e)

※固定資産増減明細書「基本財産」

※固定資産増減明細書「運用財産」

(負 債)		677,799 円	
1. 流 動 負 債		677,799 円	
(1) 未 払 金		677,799 円	(別表3)
(2) 預 り 金		0 円	

差引正味財産 ((資産) - (負債)) 38,944,148 円

《資 産》

別表 1 預金

(単位：円)

種類	銀行名	会計名	一般口	退任記念品作 製準備積立	運用準備金 積立	一斉改選 積立	基本財産	合計
普通 預金	横浜銀行 横浜駅前支店					678,412 (f)		678,412
	三井住友信託銀行 芝営業部		3,475 (a)	3,795,669 (c)				3,799,144
	三井住友銀行 横浜駅前支店		4,386,857 (b)		3,280,120 (d)			7,666,977
定期 預金	三井住友信託銀行 芝営業部				5,568,023 (e)		21,838,596 (g)	27,406,619
合 計			4,390,332	3,795,669	8,848,143	678,412	21,838,596	39,551,152

別表 2 前払費用

69,300 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	令和5年度第1回総会・研修会会場使用料	69,300
合計		69,300

《負債》

別表 3

未払金

677,799 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	インターネットバンキング利用料 (3月分)	2,200
2	電話代 (3月分)	15,273
3	市町村民児協あて郵送物送料 (2・3月分)	6,880
4	令和5年度事業計画・予算書 (案) 印刷製本費	92,388
5	個別援助票の手引き印刷製本費	322,136
6	みんぴょんシール印刷費	209,000
7	送金手数料	29,922
合計		677,799

監 査 意 見 書

令和5年 5月 29日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、令和4年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事

井上 明



監 査 意 見 書

令和5年5月29日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、令和4年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事

市川 悟 

